

文化スポーツ観光部

その他事業

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	1	説明資料	17	項目番号	2(1)
事務事業名	企画課一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

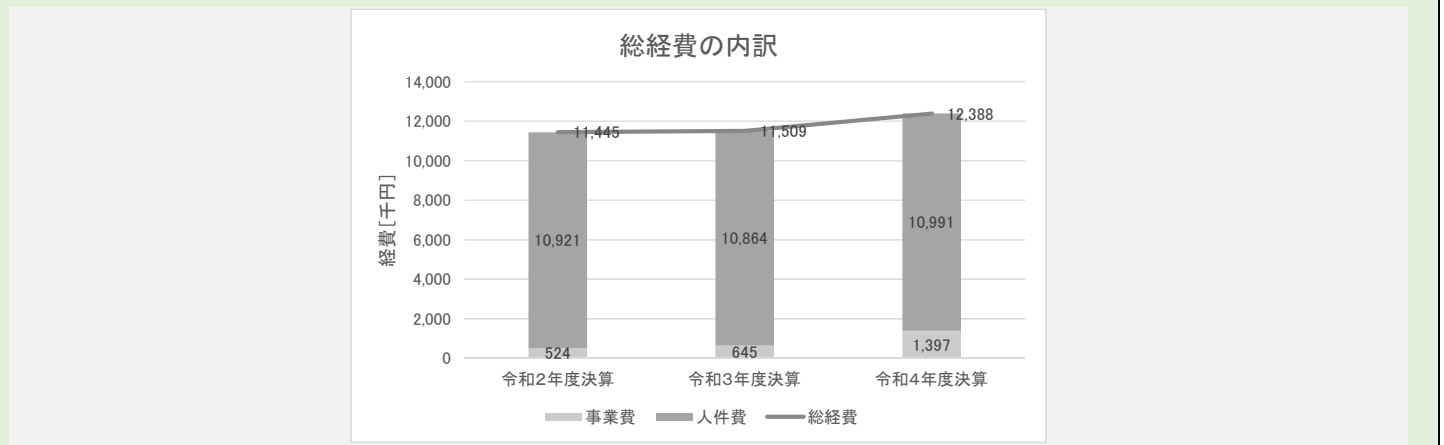
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	企画課及び部全体における事務を円滑に進める					分野別計画	
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	524	645	1,397	1,992	千円
b 人件費	10,921	10,864	10,991	10,911	千円
正規職員	1.2	1.2	1.2	1.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	839	850	874	934	千円
総経費（a + b）	11,445	11,509	12,388	12,903	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし
----------------------------	------

今後の事業の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。
-----------	----------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(1)
事務事業名	文化行政推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

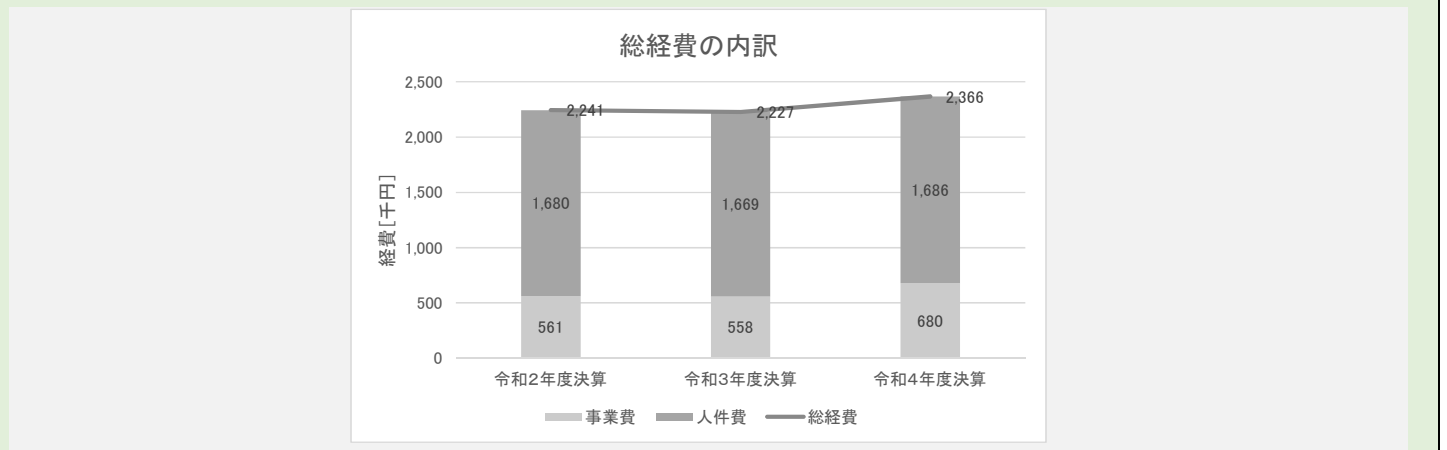
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	文化行政の総合的な企画、調整及び推進を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興の基本的事項に関し、市長の諮問に応ずるため、横須賀市文化振興条例第13条に基づき、附属機関として横須賀市文化振興審議会を設置し、その運営を行う(委員数10人以内)。委嘱や市民公募委員の選定も含む。 ・4年に1回、文化振興基本計画の改訂、毎年文化振興基本計画の進捗管理 ・文化行政専門委員の委嘱(文化行政の推進にあたり、専門的な立場からの指導・助言を得るため、文化行政専門委員を委嘱する。) ・團伊玖磨氏から寄贈された楽譜等の管理を行う。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	561	558	680	990	千円
b 人件費	1,680	1,669	1,686	2,494	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)					人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					千円
総経費(a + b)	2,241	2,227	2,366	3,484	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興審議会の実施(1回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回の予定を1回にして開催(書面開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興審議会の実施(1回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次期文化振興基本計画の策定を次年度に見送り、4回の予定を1回にして開催(書面開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興審議会の実施(3回) 次期文化振興基本計画の策定を行った。

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	<p>【R2→R3】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4回の予定を1回にして開催(書面開催)により増減なし</p> <p>【R3→R4】令和3年度に策定予定であった次期計画の策定を行ったため、審議会の開催を増やした</p>
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	新しく策定した次期文化振興基本計画のもとに、文化振興審議会や文化行政専門委員からの助言を活用して、他部局と調整して横須賀の文化振興行政を運営していく。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(2)
事務事業名	市民文化資産等保存振興事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

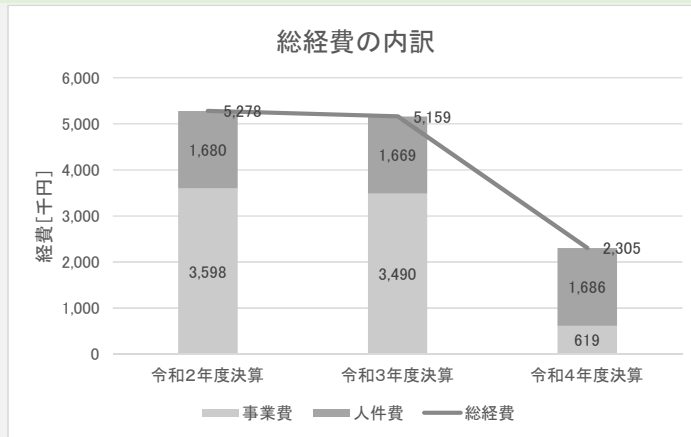
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市文化振興条例第12条「市民文化資産の指定等」の規定に基づき、本市の文化振興に資する市民文化資産の保存・活用を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	市民文化資産の保存・活用を行うため、以下の事業を実施している。 ・市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金の支給。(有形文化資産・建造物:60,000円、有形文化資産・建造物以外:20,000円) ・市民文化資産の修理に対する補助金の交付。(修理に要する費用のうち、10万円を超えた部分の2分の1以内の額で300万円を限度) ・新たな市民文化資産指定のため、指定候補の選定作業を調査員に依頼。 ・市民文化資産の説明板の修理等(必要に応じて張り替え、修理等を実施) ・指定件数24件(建造物8件、建造物以外16件:令和4年4月現在)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	3,598	3,490	619	1,025	千円
b 人件費	1,680	1,669	1,686	1,663	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)					人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					千円
総経費(a + b)	5,278	5,159	2,305	2,688	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000 (イ)建造物以外 240,000 ②市民文化資産の修理等に対する補助金 3,000,000 ③おりょうさん説明板設置 1件(2ヶ所) 116,600 ④浦賀奉行所跡地を新規指定した	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000 (イ)建造物以外 240,000 ②市民文化資産の修理等に対する補助金 3,000,000	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000 (イ)建造物以外 240,000 ②案内板の修繕・設置 128,700

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R2→R3】おりょうさん説明版の設置の分の減 【R3→R4】案内板の修繕を1基行ったが、修理に対する補助金300万の対象がなく減
--------------------------------	----------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	今後も地域の文化的遺産の保存・活用を図るため、継続して事業を実施する必要がある
-----------	-----------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(3)
事務事業名	明日の文化活動担い手育成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	将来の文化活動の担い手となる子どもたちの文化への関心を高めるため、子どもを対象として、文化活動に触れる機会や歴史を知る機会を提供する					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能ワークショップの開催 ・子ども向け歴史小冊子等の発行 ・出前授業の開催 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	472	295	782	785	千円
b 人件費	1,680	1,669	1,686	1,663	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	2,152	1,964	2,468	2,448	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
①ファミリーコンサートの開催 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ②伝統芸能ワークショップの開催 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ③子ども向け小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷	①伝統芸能ワークショップの開催 ②子ども向け小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ※ファミリーコンサートは市民文化活動推進事業(文化事業推進委託)へ移管	①伝統芸能ワークショップの開催 ②子ども向け小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ③子ども向け小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷 ④リーフレット「近代日本のルーツ横須賀製鉄所」の増刷 ⑤出前授業の実施

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>【R2→R3】ファミリーコンサートを市民文化活動推進事業へ移管したことによる減</p> <p>【R3→R4】出前授業、子ども向け小冊子を本事業に移管したことによる増</p> <p>※R4に次世代の文化を担う子ども達へ向けて発信PRできるように、出前授業や分かりやすい小冊子の増刷など、他の事業に点在している事業を集約した。出前授業も好評で、予算を超える応募があったため流用対応を行った。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	将来の文化の担い手の育成のため、引き続き取り組みを続けていきたい。
-----------	-----------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(4)
事務事業名	近代歴史遺産活用事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

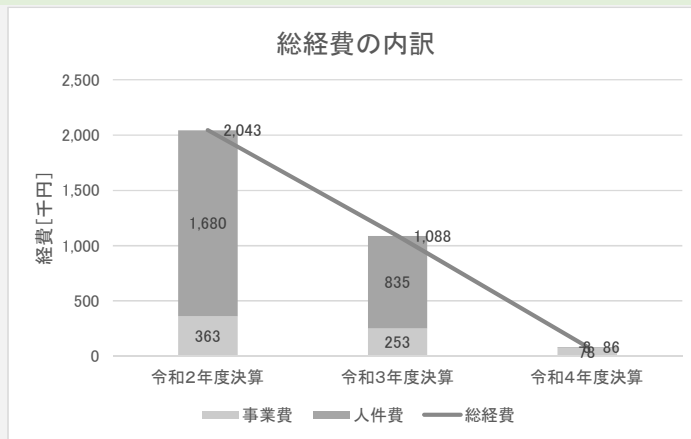
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市に多く点在する近代歴史遺産を次世代へその歴史を伝えていくことを目指す。					分野別計画	
具体的な事業内容	近代歴史遺産をはじめとする本市の歴史の周知と次世代への継承を目的として、出前授業や歴史小冊子の作成や近代歴史遺産活用事業推進協議会の運営を行う(委員数15人以内、委嘱や選定も含む)。令和4年度、協議会は書面会議を1回開催した。令和3年度にルートミュージアム推進事業が始まってからはほぼ事業を移管し、この事業では協議会の運営のみとなっている。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	363	253	78	98	千円
b 人件費	1,680	835	8	831	千円
正規職員	0.2	0.1	0.0	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）			7.5		千円
総経費（a + b）	2,043	1,088	86	929	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(2回) ②出前授業の実施 ③子ども向け小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷	①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回：書面開催) ②子ども向け小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷	①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回：書面開催)
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	【R2→R3】ティポディエ邸開館前(令和2年度)までは、市内の近代歴史遺産(ルートミュージアム構想のサテライトに相当)を紹介する出前授業など啓発活動を行っていた。(出前授業の移管による減) 【R3→R4】ルートミュージアム構想が本格稼働した、ティポディエ邸が開館した令和3年度以降は、ルートミュージアム推進事業でサテライト紹介として対応している。(小冊子発行の移管による減) ※子ども向け小冊子と出前授業は、明日の文化活動担い手育成事業で実施するのが適切のため、移管集約した。	
今後の事業の方向性	協議会開催については、ティポディエ邸開館をはじめ、ルートミュージアム構想が本格稼働したことにより、当面の目的を達成したと思われる。今後は、必要に応じて開催する予定。	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(1)①
事務事業名	三浦一族の史実の普及事業(地域文化推進事業)								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

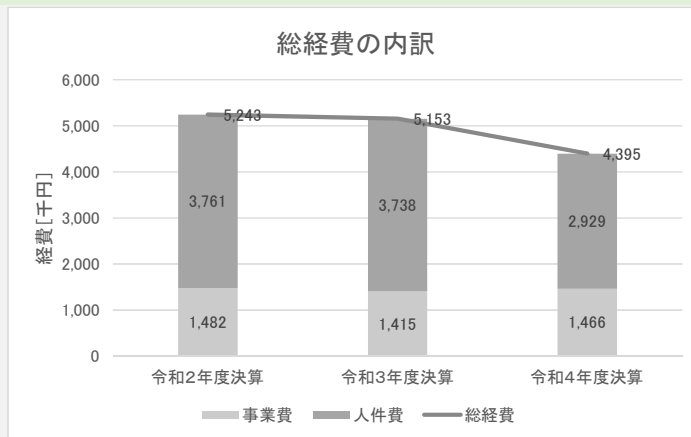
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市の歴史的・地域資源である、三浦一族の歴史に関する普及事業を三浦一族研究会に委託し、その歴史の掘り起こしと研究を通じて市民文化の振興を図るとともに、市民の郷土愛を高め、文化的な潤いのある都市としてのイメージを図る。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(5月21日開催)、講演会等の実施(毎年12月実施) ・学習講座の実施(2回)、史跡めぐりの実施(年3回)、吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回)・三浦大介新聞の作成と発行 ・その他三浦一族の歴史の普及に関すること 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,482	1,415	1,466	1,522	千円
b 人件費	3,761	3,738	2,929	3,726	千円
正規職員	0.4	0.4	0.3	0.4	人
再任用職員(短時間を含む)					人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	400.0	400.0	400.0	400.0	千円
総経費(a + b)	5,243	5,153	4,395	5,248	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(毎年5~6月頃実施)、講演会等の実施(毎年10~11月に実施) ・学習講座の実施(全2回) ・基礎講座の開催(全5回) ・史跡めぐりの実施(年3回) ・吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回) ・その他三浦一族に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面総会実施(1回) ・講演会実施(1回) 参加者196名 ・入門講座の開催(1回) 参加者46名 ・吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回) ・その他三浦一族に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面総会実施(1回) ・講演会の開催(2回) ・学習講座の実施(全2回)のべ106名参加 ・史跡めぐりの実施(年3回)のべ77名参加 ・吾妻鏡を読む会の実施(月2回)39名参加 ・機関誌の発行(年1回)、三浦大介新聞の作成と発行(2回) ・その他三浦一族に関すること

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	<p>【R2→R3】新型コロナウイルス感染症の影響で、行事内容はほぼ変わらなかった</p> <p>【R3→R4】新型コロナウイルス感染症で中止縮小していた行事を開催したが、職員人工の減少により、全体として昨年より減少した。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、開国史研究会とは異なり、市外や県外の会員が多いため、令和4年度もある程度の制限をもって活動を行った。またNHK大河ドラマの影響もあり、会員数が増えた。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>本事業の委託については、昨年のNHK大河ドラマでの盛り上がりにより、郷土愛の醸成や三浦一族のまちを感じてもらおうという一定の目的を達成しているとして、委託料の減額をしているが、今後団体と調整していきたい。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(1)②
事務事業名	開国期の史実の普及事業(地域文化振興事業)								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

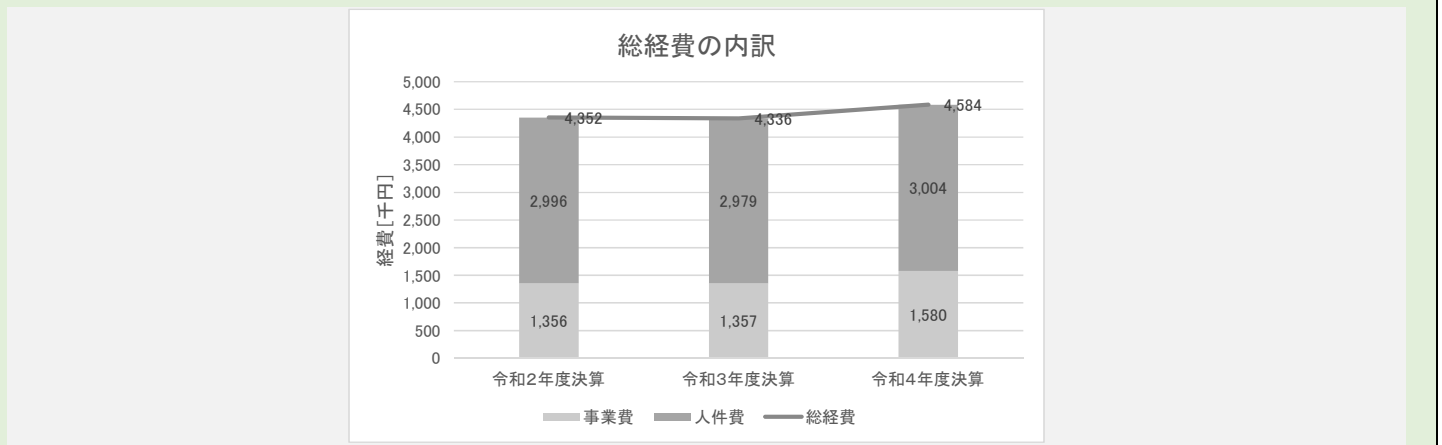
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市の歴史的・地域資源である、開国期を中心とした歴史に関する普及事業を横須賀開国史研究会に委託し、その歴史の掘り起こしと研究を通じて市民文化の振興を図るとともに、市民の郷土愛を高め、文化的な潤いのある都市としてのイメージを図る。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(毎年6月に年1回実施) ・基礎講座の開催(全3回程度)、研究講座の開催(年3回程度)、史跡めぐりの実施(年3回程度)、古文書を読む会(年2回程度)実施 ・講演会の開催(毎年12月に年1回実施) ・研究誌発行(年1回)、季刊会報誌(年4回)の発行 ・その他開国期の普及に関すること 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,356	1,357	1,580	1,622	千円
b 人件費	2,996	2,979	3,004	2,969	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)					人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	475.0	475.0	475.0	475.0	千円
総経費(a + b)	4,352	4,336	4,584	4,591	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
(1) シンポジウム開催(1回)※記念講演中止 ・参加人数 64人 (2) 講座の回数(10回) ・参加人数 210人 (コロナ禍で一部中止又は延期) (3) 研究誌の発行(1,000部) ・研究会の会員数 383人	(1) 講演会開催(1回)※記念講演中止 ・参加人数 73人 (2) 講座の回数(7回) ・参加人数 157人 (コロナ禍で一部中止又は延期) (3) 研究誌の発行(800部) ・研究会の会員数 337人	(1) 講演会開催(2回) ・参加人数 290人 (2) 講座の回数(8回) ・参加人数 214人 (3) 研究誌の発行(700部) ・研究会の会員数 277人

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	<p>【R2→R3】新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと行ったうえで、研究会行事を開催したため、委託料の変更なし</p> <p>【R3→R4】昨年同様に対策をしっかりと行ったうえで行事を開催した、講演会を通常開催としたため手話通訳謝礼が増額した</p>
----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>研究会自体の活動や今後の在り方について、検討するタイミングにきていると聞いている。</p> <p>本事業の委託について、ティポディエ邸が開館し、ルートミュージアム構想が本格稼働したことから、郷土愛の醸成や開国のまちを感じてもらおうという一定の目的を達成していると考えられるため、委託料の減額など、事業内容について研究会と調整を図っていきたい。</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(2)
事務事業名	市民文化活動推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

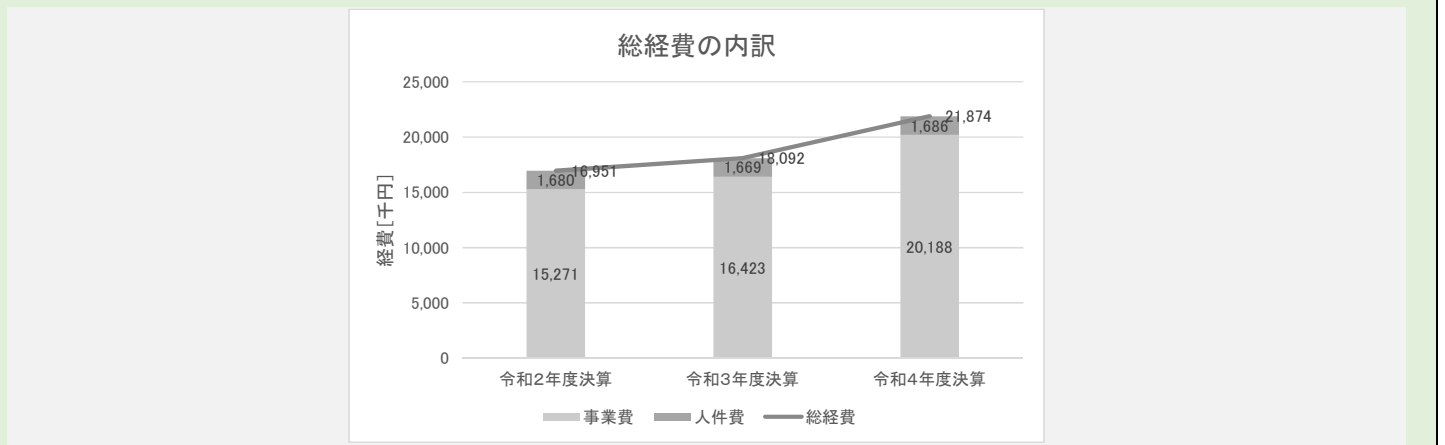
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市民に日頃の文化活動の成果の発表の機会および芸術文化鑑賞の機会を提供するなど、市民ニーズに適した各種の文化事業を実施し、市民の文化活動を支援する。						分野別計画
具体的な事業内容	効率的な運営を図るため、事業を(公財)横須賀市生涯学習財団に委託する。事業内容等は以下のとおり。 ・市民文化祭の開催(18行事、春と秋に開催、入場者数約11,000人) ・組曲「横須賀」演奏会(年1回、入場者数約600人) ・市民音楽のつどい(年1回、入場者数約600人) ・市民合唱のつどい(年1回、入場者数約1,300人) ・カジュアルコンサート(年1回、入場者数約1,000人) ・ファミリーコンサート(年1回、入場者数約1,100人)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	15,271	16,423	20,188	20,188	千円
b 人件費	1,680	1,669	1,686	1,663	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)					人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					千円
総経費(a + b)	16,951	18,092	21,874	21,851	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
(ア)市民文化祭の開催 秋季10行事 ※以下は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・組曲「横須賀」演奏会 ・市民音楽のつどい ・市民合唱のつどい ・カジュアルコンサート ・参加型プログラム	(ア)市民文化祭 14行事(春季:1、秋季:13) 入場者:4,828人 参加者:1,891人 (イ)第37回組曲「横須賀」演奏会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (ウ)第44回市民音楽のつどい 7月4日 入場者:211人 出演者:124人 (エ)第46回市民合唱のつどい 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (オ)カジュアルコンサート 令和4年1月23日 入場者:534人 出演者:100人	(ア)市民文化祭 18行事(春季:1、秋季:17) 入場者:11,035人 参加者:3,502人 (イ)第37回組曲「横須賀」演奏会 4月30日 入場者:550人 参加者:206人 (ウ)第45回市民音楽のつどい 6月12日 入場者:526人 出演者:194人 (エ)第46回市民合唱のつどい 11月4日5日 入場者:1,227人 出演者:900人 (オ)カジュアルコンサート 令和4年1月22日 入場者:978人 出演者:100人 (カ)ファミリーコンサート 令和4年3月18日 入場者:1,093人 出演者:100人

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	【R2→R3】新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事が多かった令和2年度と比較して、令和3年度は、中止行事が少なくなり、感染対策を講じて開催でき前年度比は改善したものの、大きなコンサートが中止になったため、あまり増減が変わらない 【R3→R4】R2R3と比較して、大きな行事も無事に開催できたため、執行額は増えている。(ファミリーコンサートも移管後の初の実施)
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	市民の文化活動を推進するため、継続していく。
-----------	------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	3(3)
事務事業名	文化団体支援事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

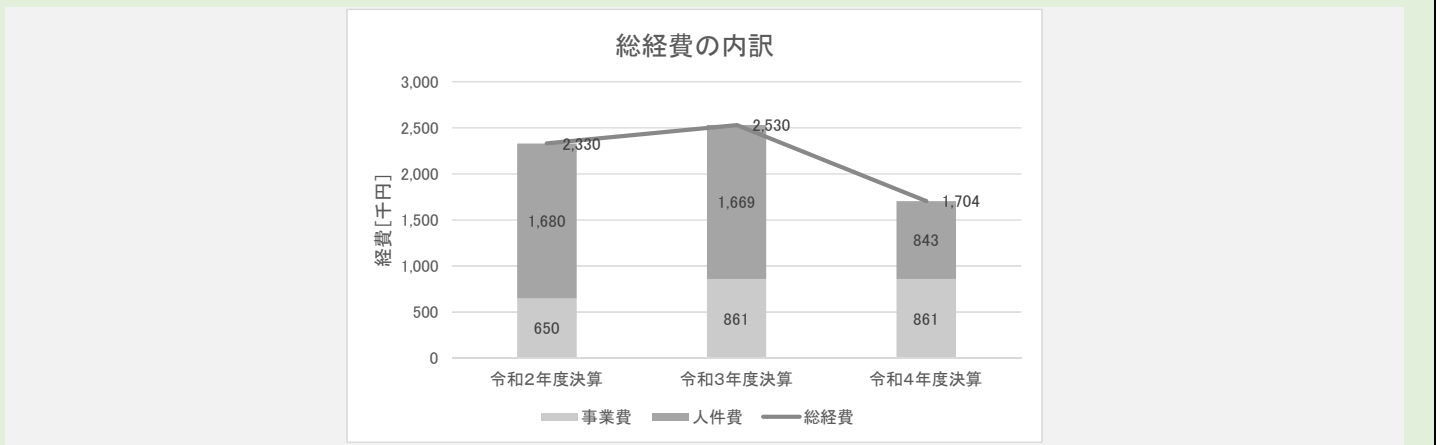
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内の文化団体の活動に対し、支援・補助を行うことにより、本市の文化活動の活性化を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体が主催する事業に対して、市の共催・後援名義の使用を承諾し、文化団体の活動を支援する。 共催・後援名義の使用を承諾した事業のうち、公募作品展などに対して、市長賞として賞状および、トロフィー等の賞品を交付する。 市内の各種文化団体を統括する横須賀文化協会に補助金を交付することで、横須賀文化協会の活動を促進する。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	650	861	861	884	千円
b 人件費	1,680	1,669	843	1,663	千円
正規職員	0.2	0.2	0.1	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	2,330	2,530	1,704	2,547	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 共催及び後援名義承諾件数 36件（共催：4件、後援：32件） 市長賞交付件数 6件（賞状：4件、楯：1件、トロフィー：1件） 横須賀文化協会補助金 1件（638,126円） 	<ul style="list-style-type: none"> 共催及び後援名義承諾件数 41件（共催：2件、後援：39件） 市長賞交付件数 7件（賞状：5件、楯：1件、トロフィー：1件） 横須賀文化協会補助金 1件（840,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> 共催及び後援名義承諾件数 71件（共催：6件、後援：65件） 市長賞交付件数 8件（賞状：8件、楯：2件、トロフィー：1件） 横須賀文化協会補助金 1件（840,000円）

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>【R2→R3】R2は新型コロナウイルス感染症の影響で文化協会の活動が制限され、結果、補助が少なかったが、R3は感染症対策をしたうえで活動を実施したため回復した。</p> <p>【R3→R4】後援名義の件数は増えた、賞賜や文化協会への補助はほぼ増減なし</p>
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	市民の文化団体の活動を支援するため、継続する。
-----------	-------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	28	項目番号	4(1)
事務事業名	歴史文化基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

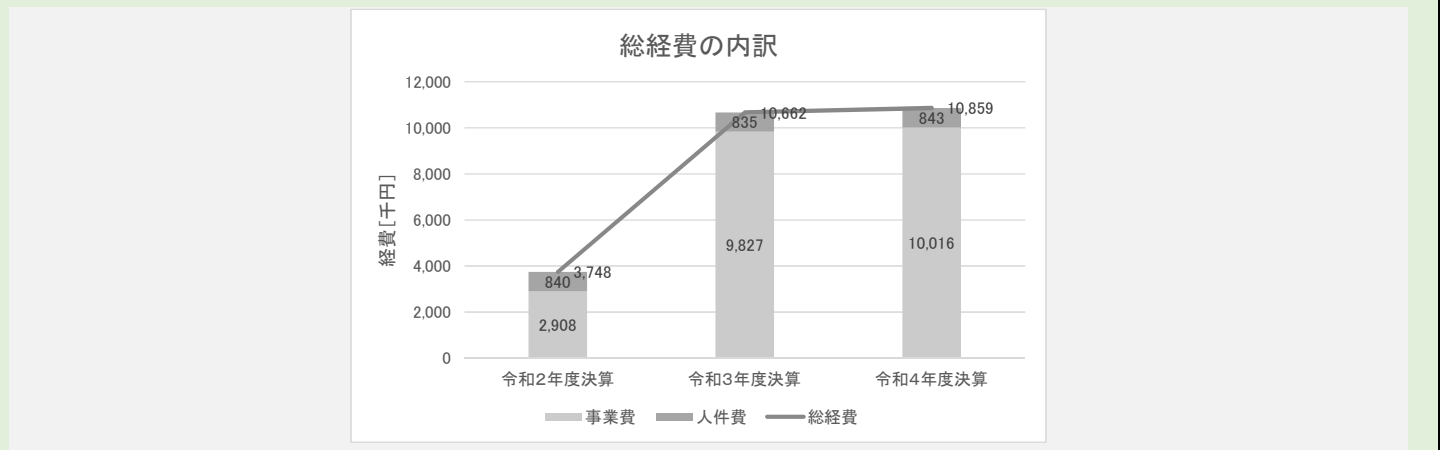
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を歴史文化基金に積み立て、文化の継承に資する事業の振興を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を、歴史文化基金へ積み立てる。 歴史文化基金は、市民文化資産保存振興事業のほか、明日の文化の担い手育成事業、文化財に関する事業などへ活用することにより、文化の継承に資する事業の振興を図るための財源となっている。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,908	9,827	10,016	10,600	千円
b 人件費	840	835	843	831	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	3,748	10,662	10,859	11,431	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化基金利子収入 8,236円 ・ふるさと納税 108件 2,899,000円 合計 2,907,236円 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化基金利子収入 1,201円 ・ふるさと納税 142件 9,825,000円 合計 9,826,201円 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化基金利子収入 438円 ・ふるさと納税 171件 10,015,000円 合計 10,015,438円

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>【R2→R3】令和3年度は、ふるさと納税の大幅な増による増</p> <p>【R3→R4】令和4年度も増収が続く、維持されている。</p>
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>地元の歴史文化の継承に資するための基金として、引き続き取り組んでいきたい。</p>
-----------	----------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	28	項目番号	5(1)
事務事業名	文化振興課一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

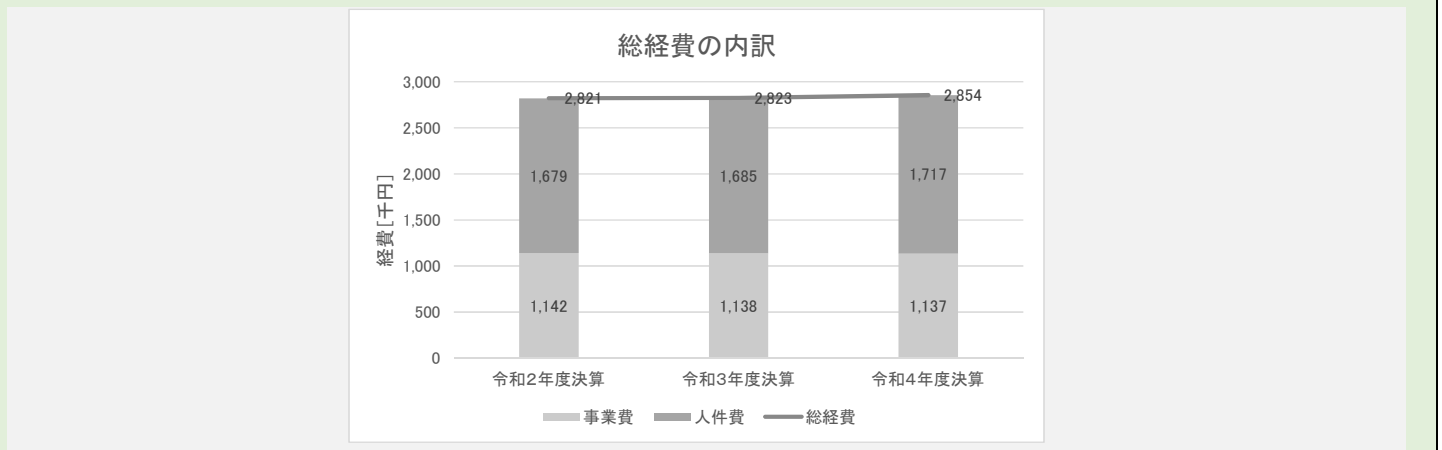
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	文化振興課における事務を円滑に進める					分野別計画	
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,142	1,138	1,137	1,167	千円
b 人件費	1,679	1,685	1,717	1,765	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	839	850	874	934	千円
総経費（a + b）	2,821	2,823	2,854	2,932	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし
----------------------------	------

今後の事業の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。
-----------	----------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	30	項目番号	2(1)
事務事業名	芸術劇場管理事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。また、複合施設である「ベイスクエアよこすか一番館」に属して、施設の共有部分の管理においても重要な位置を占めている。						分野別計画
具体的な事業内容	芸術劇場は、公共性、文化性が高い事業を施設管理と一体となって実施し、利用料金収入と指定管理料を財源に舞台音楽芸術普及事業、育成事業、各種サービス事業を展開している。平成18年度から指定管理者制度が導入され、指定管理者による管理運営となった。直近では平成24年に公募による指定管理者選定を実施し、公益財団法人横須賀芸術文化財団が選ばれ、現在も運営している。また、複合施設であるベイスクエアよこすか一番館に属するため、施設の共有部分の管理にかかる経費を所有割合に応じて市が負担している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	542,100	615,992	562,037	583,437	千円
b 人件費	2,521	2,504	4,085	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.3	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	544,621	618,496	566,122	585,931	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金127,137,307円） ・舞台用備品の購入（備品購入費2,642,640円） ・その他事務（10,101,307円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金141,346,187円） ・舞台用備品の購入（備品購入費1,944,470円） ・その他事務（70,482,869円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金144,017,836円） ・舞台用備品の購入（備品購入費4,177,140円） ・その他事務（11,623,782円）
<p>年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）</p> <p>【R2→R3】 ・負担金は令和2年度に新型コロナウイルスの影響に伴う積立金の徴収凍結(3か月)があったが、令和3年度は通常の徴収となった。 ・その他事務費は、令和2年度分の新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填を実施した(67,369,719円)。 【R3→R4】 ・負担金は、光熱水費の高騰により増額となった。 ・その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。(67,369,719円→9,021,594円)</p>		
<p>今後の事業の方向性</p>	<p>事業内容のみならず、文化芸術施策の核としての在り方について、引き続き様々な検討・改善を重ねながら維持継続していく。</p>	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	31	項目番号	2(2)
事務事業名	文化会館等管理事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

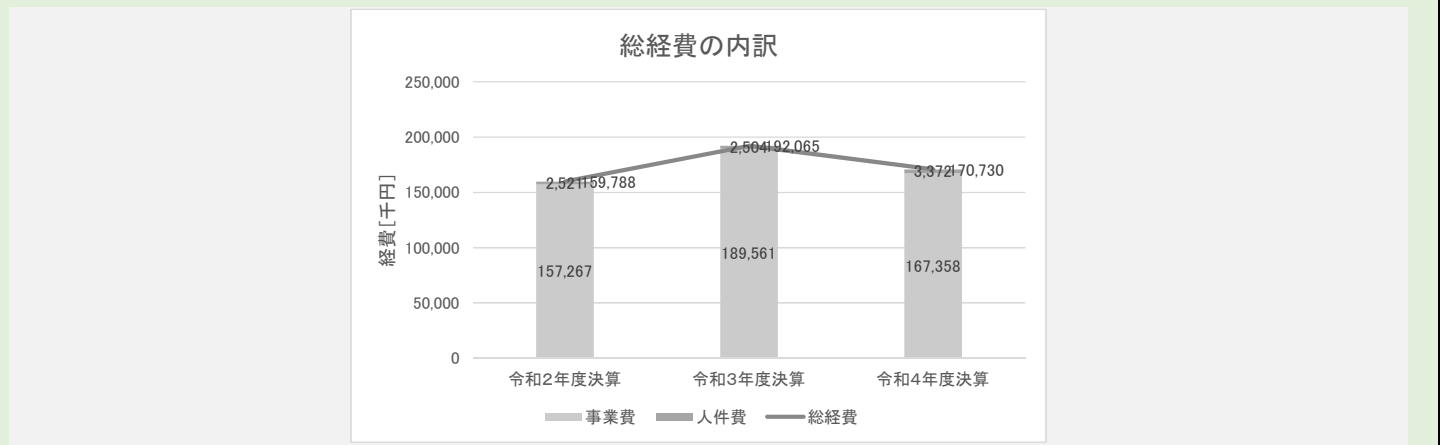
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	文化会館、はまゆう会館は、平成18年度から指定管理者制度が導入され、利用料金収入と指定管理料を財源に指定管理者による管理運営を実施している。直近では、令和3年に公募による指定管理者選定を実施し、よこすか文化パートナーズが選ばれ、現在も運営している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	157,267	189,561	167,358	179,635	千円
b 人件費	2,521	2,504	3,372	3,326	千円
正規職員	0.3	0.3	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	159,788	192,065	170,730	182,961	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 文化会館、はまゆう会館の管理運営（指定管理料150,399,120円） PCB廃棄物の調査（業務委託料1,980,000円） 舞台備品の購入（備品購入費990,000円） その他事務（3,897,114円） 	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館、はまゆう会館の管理運営（指定管理料150,399,120円） 舞台備品の購入（備品購入費893,200円） その他事務（38,268,184円） 	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館、はまゆう会館の管理運営（指定管理料149,999,068円） PCB廃棄物の処理（業務委託料726,000円） その他事務（16,632,896円）
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>【R2→R3】</p> <ul style="list-style-type: none"> その他事務費は、令和2年度分の新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填を実施した(37,105,343円)。 <p>【R3→R4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料は新たな指定管理期間開始により額が減少した。 その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。(37,105,343円→13,532,821円) 	
今後の事業の方向性	文化会館、はまゆう会館の老朽化に伴い、建物の改修等について検討していきつつ、利用者の利便性のさらなる向上を図るとともに、事業内容の更なる検討・改善を重ねながら今後も維持継続していく。	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	32	項目番号	3(1)
事務事業名	芸術劇場設備更新事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

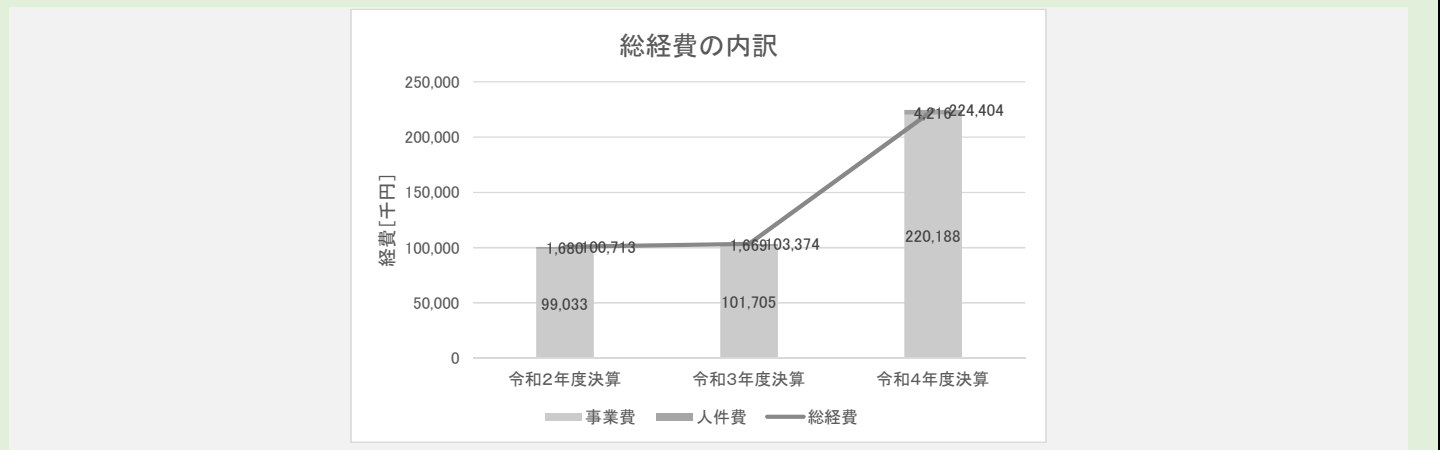
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賅いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	99,033	101,705	220,188	238,057	千円
b 人件費	1,680	1,669	4,216	4,157	千円
正規職員	0.2	0.2	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	100,713	103,374	224,404	242,214	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(79,827,000円) ・舞台照明設備修繕(3,630,000円) ・建物設備修繕(8,712,000円) ・天井改修追加調査(業務委託料)6,864,000円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(70,400,000円) ・舞台照明設備修繕(1,829,300円) ・建物設備修繕(26,875,200円) ・その他事務(2,600,000円) ※天井改修工事基本設計(業務委託料)31,300,000円)は令和4年度に全額繰越明許。 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(30,800,000円) ・舞台音響設備修繕(89,100,000円) ・建物設備工事・修繕(71,588,000円) ・天井改修工事関連 <ul style="list-style-type: none"> 基本設計(15,400,000円) ※令和4年度からの繰越明許分。 実施設計前払金(13,300,000円) ※残りは令和5年度へ繰越明許。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。令和6年、7年に計画している天井改修工事の準備段階として、令和3年、4年度に設計費用(業務委託料)が発生した。</p>
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられない。令和6年、7年に計画している特定天井の改修工事の実施に合わせ、その他付随する箇所の修繕を計画的に実施する必要がある。</p>
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	33	項目番号	3(2)
事務事業名	文化会館等設備更新事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

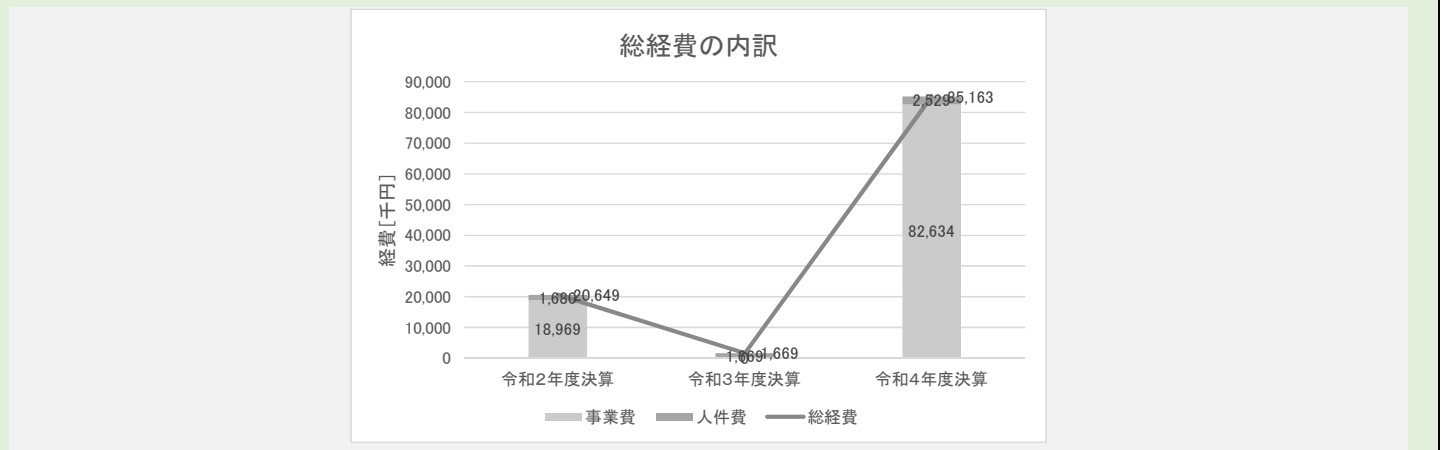
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賅いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	18,969	0	82,634	85,585	千円
b 人件費	1,680	1,669	2,529	2,494	千円
正規職員	0.2	0.2	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	20,649	1,669	85,163	88,079	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 舞台機構設備修繕(2,970,000円) 建物設備修繕・工事(15,994,000円) その他事務(4,334円) 	<p>なし</p> <p>※建物設備修繕(22,289,000円)は令和4年度に全額繰越明許。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 舞台音響設備修繕(2,134,000円) 建物設備修繕(19,800,000円) <ul style="list-style-type: none"> ※令和4年度からの繰越明許分。 建物設備工事前払金(60,700,000円) <ul style="list-style-type: none"> ※残りは令和5年度へ繰越明許。 その他事務(0円) <ul style="list-style-type: none"> ※手数料(39,000円)を令和5年度に繰越明許。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。</p> <p>令和4年度に予定していた文化会館の建物設備工事が年度内に業務が終了しなかったことにより、工事請負費とそれに付随する検査費用を令和5年度に繰り越した。</p>
----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>計画的な修繕等実施しているが、経年的な劣化は避けられない。費用が圧縮できるよう関係者で協議を継続していくほか、建物の改修等についても検討していく必要がある。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	37	項目番号	2(2)
事務事業名	美術館教育普及事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

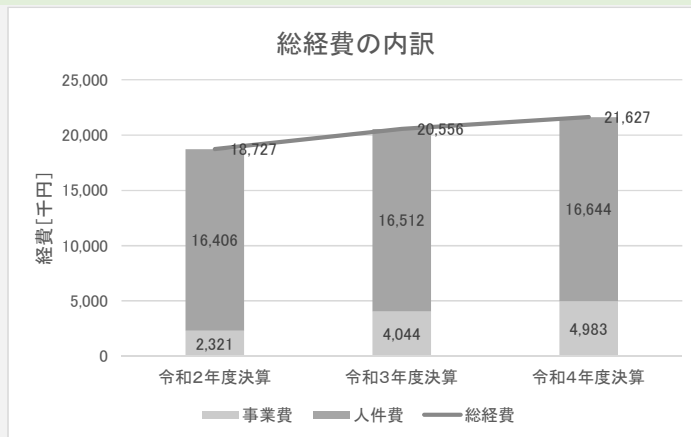
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術への理解を深め、美術館への親しみが持てるように、講演会やワークショップを開催するとともに、要望に応じた鑑賞補助プログラムや、学校と連携した鑑賞教育を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、ワークショップ、ギャラリートーク等教育普及事業の実施。 ・美術館ボランティアに対する研修およびイベント開催のサポート。 ・作品理解や展覧会理解のための印刷物、動画等のコンテンツ制作。 ・小学生美術鑑賞会等の学校連携事業。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,321	4,044	4,983	5,829	千円
b 人件費	16,406	16,512	16,644	16,458	千円
正規職員	1.6	1.6	1.6	1.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	2,963	3,160	3,154	3,155	千円
総経費（a + b）	18,727	20,556	21,627	22,286	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業を中止し、一部は代替えとして動画等を制作した。</p> <p>(1) 展覧会関連の教育普及事業 全事業中止。参加者0人。 ギャラリートーク等の動画8本をYouTubeにて公開。</p> <p>(2) 展覧会関連以外の教育普及事業 講演会中止、ワークショップ5回、映画会2回、ボランティアイベント中止。総参加者数 94人。 ボランティアによるWebコンテンツ11本を公開。 映画紹介の動画1本をYouTubeにて公開。 障害児者対象のワークショップ動画4本をYouTubeにて公開。</p> <p>(3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 15回。総参加者数 404人。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を中止し、代替えとして動画等を制作した。</p> <p>(1) 展覧会関連の教育普及事業 ワークショップ6回 参加者計68人 野外ワークショップ・イベント3回 参加者計1125人 オンライン講演会・トーク動画の制作と公開16本 ZOOMワークショップ2回 参加者計15人 ワークショップ・パフォーマンス動画の制作と公開7本</p> <p>(2) 展覧会関連以外の教育普及事業 ワークショップ5回 参加者計65人 ZOOMワークショップ1回 参加者計17人 映画会・野外イベント5回 参加者計2695人 WEBトーク・ワークショップの制作と公開 7本</p> <p>(3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 70回。総参加者数4209人。</p>	<p>対面型の事業を再導入しつつ、一部で、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、動画等オンラインを活用した教育普及事業を行った。</p> <p>(1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会、対談13回（配信2シリーズを含む） 参加者計554人 ワークショップ7回 参加者計86人 パフォーマンス・イベント（能楽）1回 参加者計91人</p> <p>(2) 展覧会関連以外の教育普及事業 ワークショップ21回 参加者計240人 映画会4回 参加者計379人 ボランティア・イベント8回 参加者計563人 農水産業振興課との連携イベント2回 参加者計581人</p> <p>(3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 89団体。総参加者数3842人</p>
<p>年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、教育普及事業の多くを中止した。令和3年度は、規模縮小やオンライン事業の導入による形式変更などにより、中止以外の選択肢を模索した。令和4年度は、感染症の拡大が緩やかになったことを受け、これまで中止してきた対面型の事業を多く復活させた。事業費は、このような事業の実施状況を反映し、令和2年度以降、次第に増えてコロナ禍以前の水準に戻りつつある。</p>	
<p>今後の事業の方向性</p>	<p>事業目的を達成するため、従来の事業の回復を目指す。また、感染症対策の一環として導入したオンライン事業等のノウハウを今後も生かしていく。</p>	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	37	項目番号	2(3)
事務事業名	美術品収集管理保管事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	所蔵作品を館内外の展示等で有効に活用するため、美術館の使命の一つである美術品の収集、保存、管理を適切に行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品収集(購入、寄贈等)およびそのための調査 ・横須賀美術館美術品評価委員会の開催 ・所蔵作品の修復および額装 ・所蔵作品の貸し出し ・収蔵・展示施設の環境調査 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	3,838	6,683	7,830	8,473	千円
b 人件費	8,402	8,345	8,431	8,314	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	12,240	15,028	16,261	16,787	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の整理 額装7点(改修7点)、マット装80点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 寄贈18点、所管替3点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 7件、貸出点数76点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の整理 修復3点、額装11点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入1点、寄贈3点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 3件、貸出点数4点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の整理 修復1点、額装7点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入2点、寄贈18点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数68点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 ・虫害防除 1回
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度に新設した、ふるさと納税等の寄附による美術品等取得基金を財源として、令和3年度、令和4年度に美術品を購入し、それぞれ1,800(千円)、2,500(千円)を支出したため、令和2年度までに比して事業費が段階的に増加している。また、例年になく業務として、令和4年度には企画展示室の虫害防除を実施し、451(千円)を支出した。	
今後の事業の方向性	収集方針に即した体系的な収集と、その財源確保をより積極的に進める。一方で、有限である収蔵施設の空間と環境を適正な状態に保つため、作品の整理および清掃等を継続して行う。所蔵作品について、必要な写真撮影等を含む情報の整理、データベースの公開を進め、さらなる活用につなげる。	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	38	項目番号	2(4)
事務事業名	美術館運営事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	図書室の運営のほか、美術館運営評価制度の運用、広報宣伝事業、全館共通印刷物制作、地域連携など館全体に関わる事業を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の運営に係る会計年度任用職員の雇用、美術図書の購入や収集調査 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館ニュースの発行 ・広報物の送付やツイッター等SNSの運用、交通広告やメディアへの広告や取材対応 ・団体観覧への対応、地域との連携事業 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6,265	4,333	6,698	7,825	千円
b 人件費	28,772	28,896	25,412	25,289	千円
正規職員	2.3	2.3	1.8	1.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	9,447	9,702	10,236	10,324	千円
総経費（a + b）	35,037	33,229	32,109	33,114	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の収集 736冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、ツイッター等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 281件、テレビ・ラジオ放送 21件 ・商業撮影 5件 ・団体観覧の受入 325人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の収集 805冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、ツイッター等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 367件、テレビ・ラジオ放送 13件 ・商業撮影 40件 ・団体観覧の受入 2,306人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の収集 677冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、ツイッター等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 408件、テレビ・ラジオ放送 28件 ・商業撮影 24件 ・団体観覧の受入 8,090人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 9回

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>【令和2年度】新型コロナウイルス感染症の影響で外出制限等が出たため、ウェブで楽しめるコンテンツの充実させた。</p> <p>【令和3年度】臨時休館をした影響で、複数年にわたって使用できるパンフレットや封筒の在庫余りが発生し、追加製作が不要となったことから、事業費が減少した。／美術館のプロモーションにつながるファッション誌などのスチール撮影、CM撮影などの積極的な受け入れを開始した。</p> <p>【令和4年度】人件費の減は、広報係長の減による。／新しい取り組みとして、開館前のウェルカムコンサートを開始した。／パンフレットや封筒は例年どおり製作した。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>SNS等の訴求活動を通じた情報発信や、積極的な商業撮影の受入れなどで、横須賀美術館の認知度は高まっていると感じている。</p> <p>美術館のPRを一層強くするため訴求活動や外部連携を強化していきたい。</p> <p>図書室については、今後も美術への興味や理解が深まる場の提供を目的として、美術関連の資料(図書、カタログ等)を収集し、整理・保管を実施していく。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	39	項目番号	3
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	---

事務事業名	美術館管理事業	所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課
-------	---------	-------	---------------------

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀美術館を適正に維持管理し、施設を永く維持できるようにする。 ・円滑な運営を行うことで、利用者の満足度を高める。 					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び敷地の適正な維持管理。 ・受付・展示監視及び施設の清掃、警備、各種設備の保守管理委託及び委託業者との連絡調整。 ・委託事業者、レストラン、ミュージアムショップと連携し、ホスピタリティのある来館者サービスを実施。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	278,305	282,855	307,242	325,747	千円
b 人件費	25,636	25,768	25,658	25,630	千円
正規職員	2.4	2.4	2.4	2.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,471	5,740	5,424	5,676	千円
総経費（a + b）	303,941	308,623	332,900	351,377	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
------------	------------	------------

<ul style="list-style-type: none"> ・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い <p>(主な修繕箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館外回りのガラスを支えるサッシの腐食が目立ち、耐久性と美観に問題があったことによる塗装工事と一部建具の改修 ・本館ガラス屋根のうち、一部破損している3枚の交換修理 	<ul style="list-style-type: none"> ・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い <p>(主な修繕箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷内六郎館外回りのガラスを支えるサッシの腐食が目立ち、耐久性と美観に問題があったことによる建具の改修 ・谷内六郎館で雨漏りが発生したために実施した屋根の防水工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い <p>(主な修繕箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館屋根ガラスの防水（シーリング）工事 ・空調用自動制御装置、空調用冷水ポンプの不具合箇所の交換修繕
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度および3年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や企画展の中止などにより、受付展示監視員の委託料や光熱水費が削減され、事業費が減少しました。令和4年度は、美術館の臨時休館がなかったことや、「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」等の企画展が好調だったため、光熱水費や委託料等が増加しました。あわせて、開館から15年が経過し、小破修繕に係る費用が増加しています。
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	施設の維持管理には常に気を配り、費用対効果を考慮しながら修繕等のメンテナンスを行っていく。現状を維持しながらも、サービス向上のために必要な新たな取組みを検討していく。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	40	項目番号	4(1)
事務事業名	美術品等取得基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

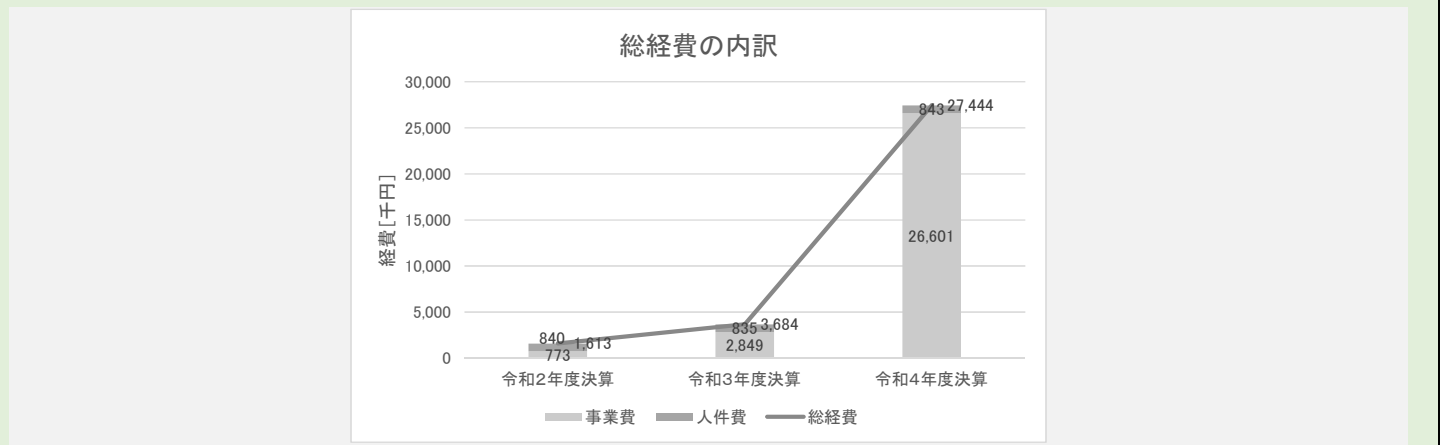
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術館運営に必要な美術品及び美術に関する資料を取得する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	ふるさと納税等による寄付を美術品等取得基金に積立を行い、将来の美術品購入の財源とする。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	773	2,849	26,601	33,924	千円
b 人件費	840	835	843	831	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,613	3,684	27,444	34,755	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 美術品等取得基金利子収入 162円 ふるさと納税 25件 773,000円 合計 773,162円 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税 46件 2,849,000円 合計 2,849,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 美術品等取得基金利子収入 45円 ふるさと納税 340件 26,512,000円 募金箱 58,848円 直接寄附 30,000円 合計 26,600,893円

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度から令和4年度にかけて、ふるさと納税の件数及び金額が増加し、基金積立金の残額が増加している。令和4年度から館内に募金箱を設置し、その寄附金も基金に積み立てている。また、令和4年度は直接寄附が1件あった。
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	収集方針に即した体系的な作品収集と財源確保を積極的に進める。
-----------	--------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	2	説明資料	46	項目番号	4(1)
事務事業名	プレミアム付商品券事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 商業振興課		

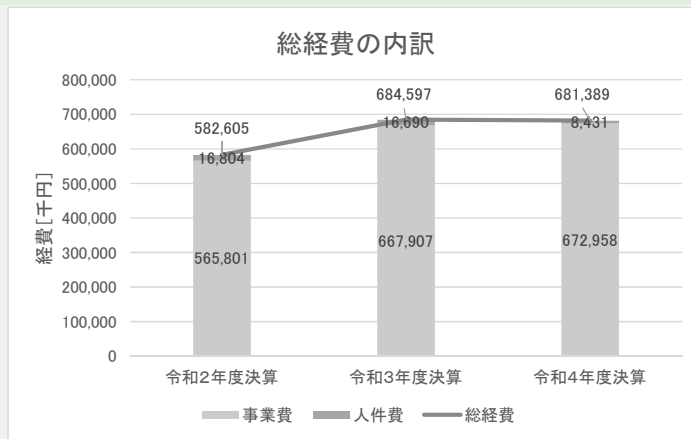
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	プレミアム付きの商品券「よこすか『地元の元気』応援券～プレミアム付商品券第3弾～」を発行し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進する。						分野別計画
具体的な事業内容	プレミアム率25%のプレミアム付商品券の発行						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	565,801	667,907	672,958	685,000	千円
b 人件費	16,804	16,690	8,431	0	千円
正規職員	2.0	2.0	1.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	582,605	684,597	681,389	685,000	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<p>【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進するため、プレミアム付きの商品券を発行。 プレミアム率25% 発行総額 2,037,875,000円</p>	<p>【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進するため、プレミアム付きの商品券を発行。 プレミアム率25% 発行総額 2,488,500,000円</p>	<p>【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている市民生活の支え及び市内経済の活性化を図るため、プレミアム付きの商品券を発行。 プレミアム率25% 発行総額 2,487,287,500円</p> <p>商業活動が活発化し、課内人員での対応が困難であったため、係長1名を他部より併任とし、事業を実施（人件費には未反映）</p> <p>また、商品券に環境に配慮した新素材「LIMEX」を活用して実施した。</p>
<p>年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）</p>	<p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の経済対策として、全市民及び市内在学・在勤者を対象に実施した。 令和3年度は前年度が好評であったことから、発売数を増やして実施した。 令和4年度は令和3年度と同規模で実施した。 販売冊数: 令和2年度 163,030冊 令和3年度 199,080冊 令和4年度 198,983冊</p>	
<p>今後の事業の方向性</p>	<p>毎年度実施する事業ではないが、事業効果の把握や分析を行い、次に実施する際の参考としていく。</p>	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	49	項目番号	2(2)
事務事業名	観光拠点強化事業奨励金								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

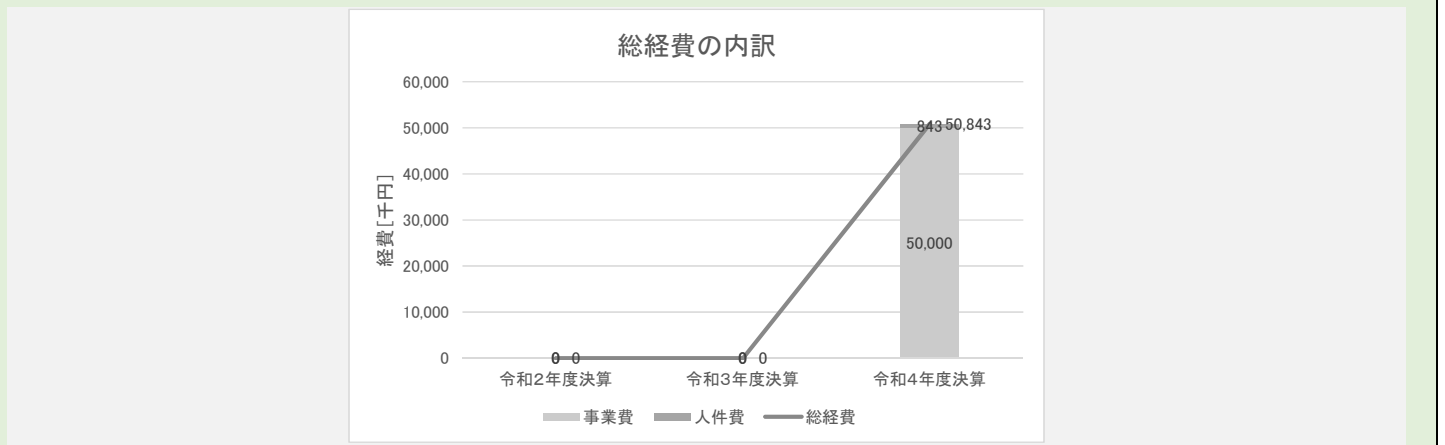
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	企業版ふるさと納税を財源とした奨励金の交付により、横須賀の魅力を発信することで、横須賀市内への観光客等の周遊を促し、観光客数の増や、課題となっている市内滞在時間の延長、消費額の増を目指す						分野別計画
具体的な事業内容	奨励金の交付にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	50,000	50,000	千円
b 人件費	0	0	843	831	千円
正規職員	0.0	0.0	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	0	50,843	50,831	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
なし	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の事業であったが、本体工事の遅れにより、年度内に執行せず、令和4年度に繰り越した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から令和4年度への繰り越し事業として、シティサポートよこすかへ企業版ふるさと納税を財源とした奨励金を交付した。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> イベント広場の整備 情報発信ツールの整備 令和4年度の事業は、3月の補正予算のため、年度内に完了させることができないことから、令和5年度に繰り越した。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度からの事業だが、全額令和4年度へ繰り越し、令和4年度の事業分は、全額令和5年度へ繰り越した。
----------------------------	-----------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業が主体的に実施を計画する事業に対し、企業版ふるさと納税を活用した奨励金を交付することで、今後も民官連携で再興プランを推進していく。 寄附の募集は事業の提案事業者等とも協力しておこなっていく。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	53	項目番号	3(3)
事務事業名	日米親善よこすかスプリングフェスタ事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

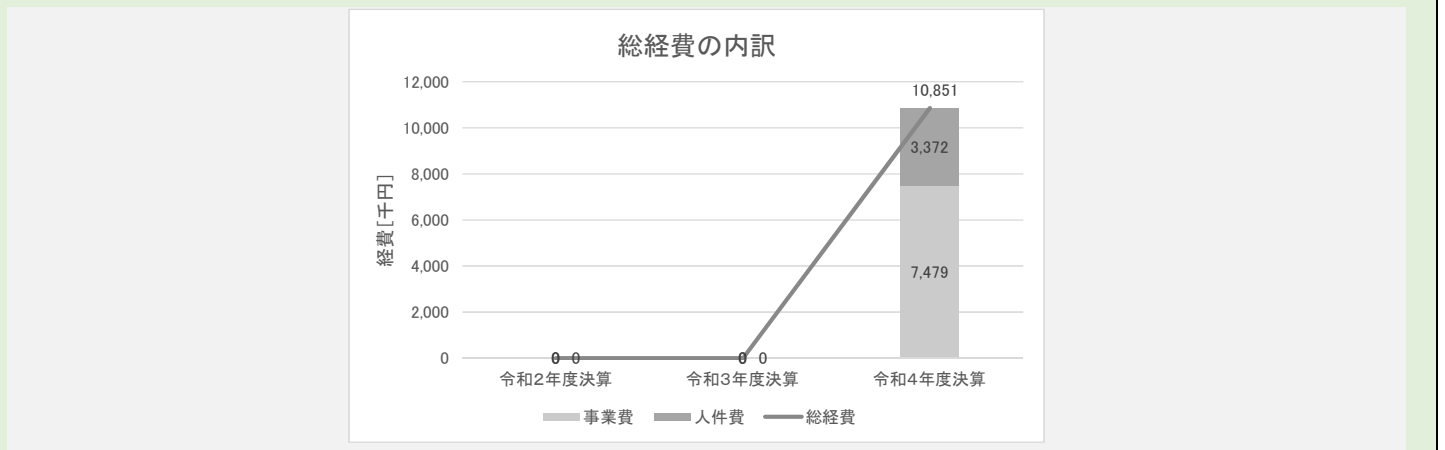
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	「日米親善よこすかスプリングフェスタ」を開催することで、日米間の友好親善を図ること、ひいては『横須賀の観光』のイメージアップを推進し、交流人口の増加を図る。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	7,479	7,627	千円
b 人件費	0	0	3,372	2,494	千円
正規職員	0.0	0.0	0.4	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	0	10,851	10,121	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日：令和5年3月25日（土） 会場：米海軍横須賀基地 来場者数：21,000人 備考：混雑対策のため、事前予約制により実施

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度～3年度3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 従前は約5,000千円の規模で事業を実施していたが、令和4年度は米軍基地内への入場ルールの変更や混雑による危険回避のため、事前予約制を導入したことから経費が増となっている。
----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 天候にも左右されるが、例年30,000～40,000人の方にご来場いただき、米海軍横須賀基地内の桜や各種イベントを楽しんでいただいております。また、日米間の友好親善を図ることができる数少ないイベントの一つであることから、引き続き米海軍横須賀基地と協力しながら事業を実施していきたい。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	53-55	項目番号	4(1)
事務事業名	観光団体助成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

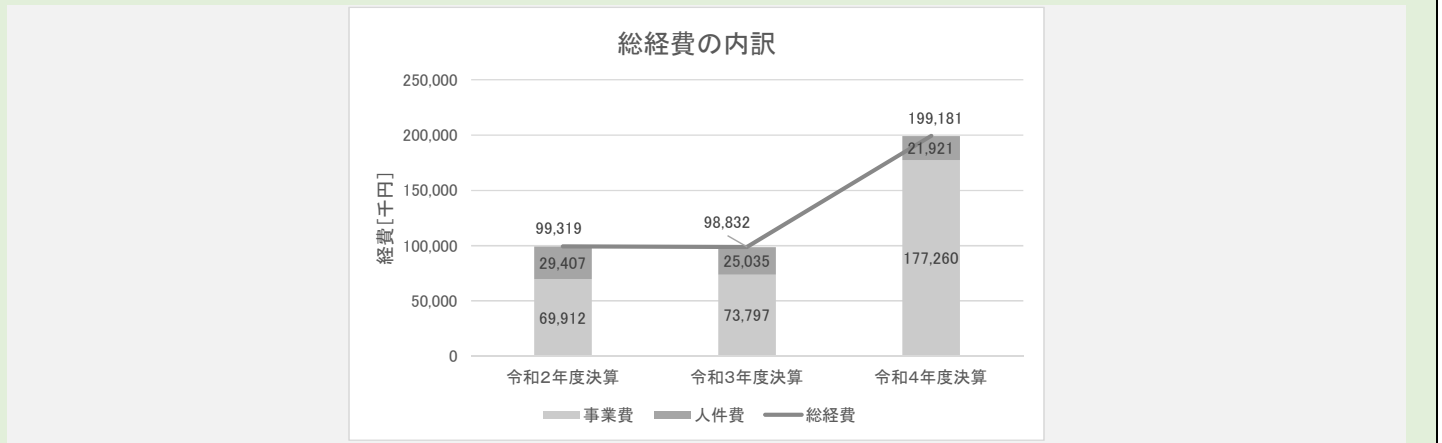
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことで、本市の観光振興・経済の活性化を図る。						分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付(観光案内所の運営、よこすかシティガイドの活動支援、人件費等) 2(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付(よこすかYYのりものフェスタ、よこすかみこしパレード、日米親善ベース歴史ツアー、海上自衛隊田戸台分庁舎ガイドツアー、海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開) 3カレーの街よこすか推進委員会への負担金(・広報活動、キャンペーン事業・イベント活動(よこすかカレーフェスティバル等の開催)・宣伝物制作(よこすか海軍カレーガイドブック等)) 4各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 5観光行事への市長賞交付 6海水浴場の開設補助							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	69,912	73,797	177,260	195,349	千円
b 人件費	29,407	25,035	21,921	22,448	千円
正規職員	3.5	3.0	2.6	2.7	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	99,319	98,832	199,181	217,797	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種イベントは開催中止。ただし、日米親善ベース歴史ツアーのみ開催。 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア よこすかカレーフェスティバル2020 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 イ 「よこすか海軍カレーガイドブック」等の発行 2種類 計50,000部 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計11件 イ 各種観光団体主催事業 計2件 (5)観光行事への市長賞交付 計4件	(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種イベントは開催中止。ただし、日米親善ベース歴史ツアーのみ開催。 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア よこすかカレーフェスティバル2021 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計12件 イ 各種観光団体主催事業 計3件 (5)観光行事への市長賞交付 計6件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2022 イ よこすか開国花火大会 ウ 日米親善ベース歴史ツアーへの支援 ※よこすかみこしパレード、海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開及びガイドツアーは開催中止 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2022の開催及びガイドブックの発行 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計30件 イ 各種観光団体主催事業 計4件 (5)観光行事への市長賞交付 計9件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	・令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大型イベントが中止となり、例年に比べ経費が大幅に減少していた。 ・令和4年度は、一部イベントの実施が再開したことにより経費が増加となっているが、コロナウイルス発生以前の総経費約2.2億円と比べると、ほぼ横ばいである。
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	・当該事業は、各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことが地元経済の活性化の一助となっている。 ・また、本市観光振興の中核的組織である(一社)横須賀市観光協会への支援も、今後更なる機能強化推進のために継続する必要がある。 ・大型イベントなど各事業における経費負担については引き続き適正化を図る必要があると考えるため、イベント実施における経費負担を整理し、自主財源の確保等を検討する。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	55	項目番号	5(1)
事務事業名	観光地整備・美化事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

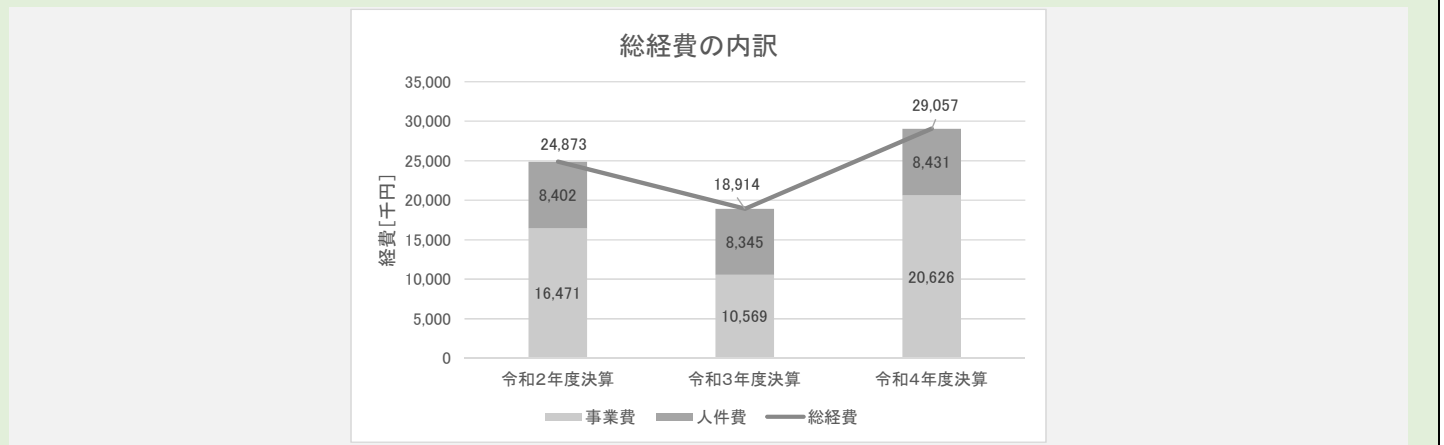
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	観光施設の整備及び観光地の美化事業を行うことにより、観光客に快適な環境及び情報を提供する。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 (2)観光地の美化清掃 (3)ハイキングコース巡視業務 (4)観光施設案内看板等修繕 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	16,471	10,569	20,626	23,014	千円
b 人件費	8,402	8,345	8,431	8,314	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	24,873	18,914	29,057	31,328	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山山頂休憩所・大楠山公共トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公共トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延94回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延39回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山公共トイレ扉小破修繕ほか 6件 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理 (6)ヴェルニー公園Wi-Fi環境整備事業	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山山頂休憩所・大楠山公共トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公共トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延89回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延39回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望台小破修繕 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山山頂休憩所・大楠山公共トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公共トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延78回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延32回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望台小破修繕 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理 (6)旧荒崎シーサイドコース橋梁撤去工事
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	・観光施設やハイキングコースにおいて、観光案内板等の設置、老老化した擬木階段や案内標識等の改修、通路やトイレ等の清掃・維持管理等により観光客の利便性を図っている。 ・美化清掃委託やゴミ収集運搬委託、ハイキングコース等の小破修繕など定例的な経費であるため、原則大幅な増減はない。 ・令和2年度はヴェルニー公園Wifi設置、令和4年度は旧荒崎シーサイドコースに残置されていた橋梁の撤去工事を行ったため、経費が増となっている。	
今後の事業の方向性	・大楠山山頂ビューハウスや武山アゼリアハウスなどの観光施設やハイキングコース等を市が管理・指定している間は、引き続き事業を継続する必要がある。 ・デジタルサイネージは、観光客への情報提供ツールとして引き続き事業を継続する必要がある。	

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	56	項目番号	6(1)
事務事業名	観光立市推進推進基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

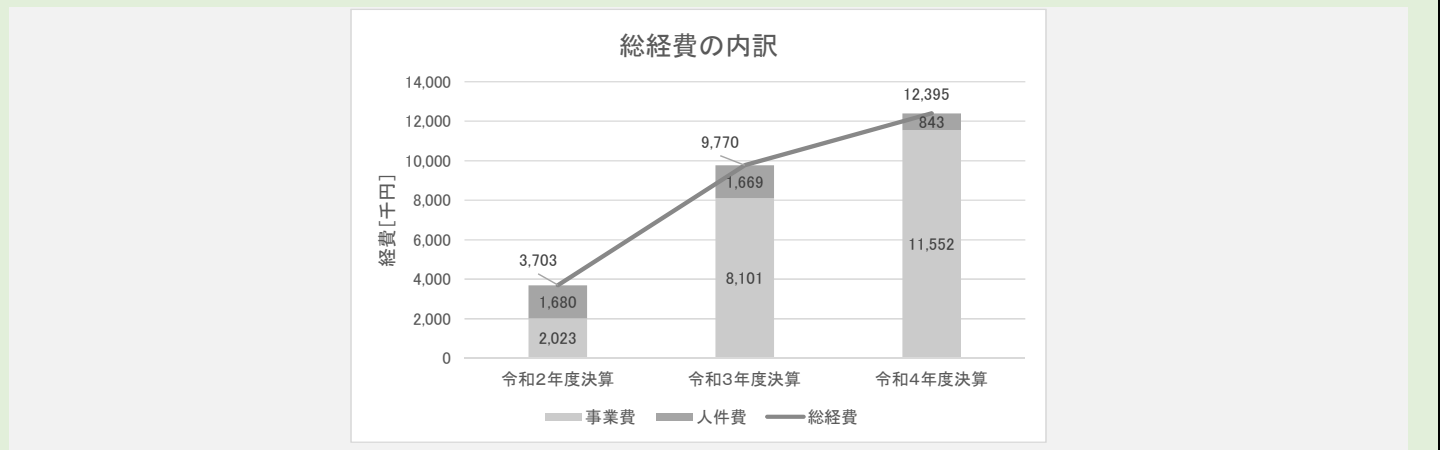
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	観光に関する意識の向上を図るため「観光立市推進基金」を平成30年度に創設し、観光立市推進基金への寄附を募り、観光の魅力発信や観光客の受け入れ環境の整備を進める。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光立市推進基金への指定寄付分の積立金 ・観光立市推進基金の運用利子分の積立金 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,023	8,101	11,552	11,641	千円
b 人件費	1,680	1,669	843	1,663	千円
正規職員	0.2	0.2	0.1	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	3,703	9,770	12,395	13,304	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・観光立市推進基金利子収入 209円 ・ふるさと納税 73件 2,023,000円 合計 2,023,209円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光立市推進基金利子収入 29円 ・ふるさと納税 157件 8,101,000円 合計 8,101,029円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光立市推進基金利子収入 101円 ・ふるさと納税 184件 11,552,000円 合計 11,552,101円

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、寄付件数及び金額の大幅な増加により、積立金も大幅に増加した。 ・令和4年度も寄付件数及び金額が増加し、令和3年度に比べて積立金が増加した。
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	引き続き、観光立市推進基金への寄付金を全国から募り、観光地としての知名度向上を図る。
-----------	--------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	61	項目番号	1(2)
事務事業名	スポーツ推進審議会							所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

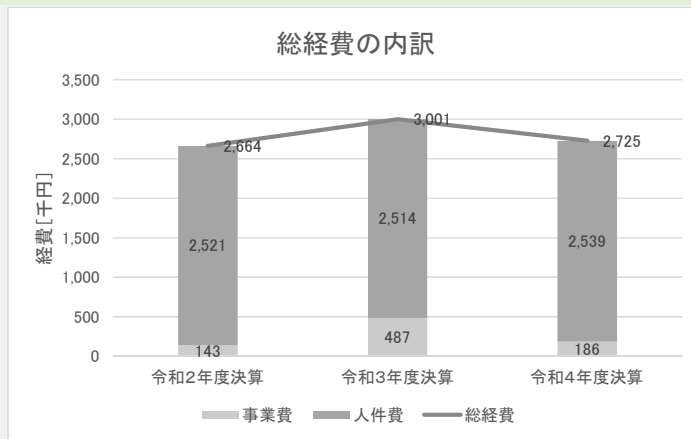
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第31条、スポーツ推進審議会条例						
事業目的	本市のスポーツ推進の重要事項について調査審議する					分野別計画	
具体的な事業内容	委員は12名で、その内訳は、公募市民2名、関係団体代表者10名(体育協会、学区体育振興会、神奈川県立保健福祉大学、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会、レクリエーション協会、横須賀市スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ指導者競技会、中学校体育連盟、小学校体育研究会、スポーツ推進委員協議会)、学識経験者1名で構成されている。年度内に2~3回会議を開き本市のスポーツ推進に関し審議を重ねている。主な審議内容は、毎年度のスポーツ関係事業の進捗状況や当該年度の予算主要事業の報告並びに計画策定など。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	143	487	186	299	千円
b 人件費	2,521	2,514	2,539	2,504	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	10	10	10	千円
総経費（a + b）	2,664	3,001	2,725	2,803	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
------------	------------	------------

<p>会議開催数 1回</p> <p>参加委員数 延13名(書面開催)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により未開催 (報告事項のみ資料送付)</p> <p>次任期における市民委員の公募を行った。</p>	<p>会議開催数 2回</p> <p>参加委員数 延16名</p>
-----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

<p>年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)</p>	<p>コロナ禍が一段落し通常開催を行うことができた。</p>
----------------------------------------	--------------------------------

<p>今後の事業の方向性</p>	<p>コロナ禍は現状落ち着いているが、今後も感染症の状況を注視し、課題の内容に応じて書面開催も検討していく。</p>
------------------	------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	62	項目番号	2(2)
事務事業名	市スポーツ推進委員								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第32条						
事業目的	スポーツ基本法第32条に基づき、本市スポーツ活動推進のため、事業実施に係る連絡調整並びに実技指導その他スポーツに関する指導助言を行い、地域住民の健康増進、体位向上を図るとともに講習会、研修会等への参加を通じて資質の向上を図ることを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	スポーツ推進委員は、学区体育振興会を推薦母体とし、委員相互の連絡調整とスポーツ推進のための体制を整備することを目的に、横須賀市スポーツ推進委員協議会を組織しており、定数は322名以内となっている。所属する学区体育振興会主催の健民運動会、歩こう会、児童ソフトボール大会等の企画・運営及び本市主催のレクリエーション関係事業等に積極的に協力参加する。また、資質向上のため、各種研究大会・実技研修会に参加している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,421	4,224	4,526	5,028	千円
b 人件費	2,521	2,504	2,529	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,942	6,728	7,055	7,522	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
スポーツ推進委員数 303人 スポーツ推進委員協議会主管学区対抗球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 301人 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 299人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	新型コロナウイルス感染症が拡大して以降、多くの事業が中止となっていたが、令和4年度は直近の過年度と比較すると、通常に近い事業活動を行うことができた。それにより、対面式会議の開催による会場費用の増や全国スポーツ推進委員研究協議会の開催等により、前年度と比較して経費が増となった。
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	スポーツ推進委員は本市のスポーツ振興に欠かせない存在であるため、事業は維持継続し、活発な活動を後押しする。
-----------	-------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	62	項目番号	2(3),(4)
事務事業名	自動車損害共済基金分担金および一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

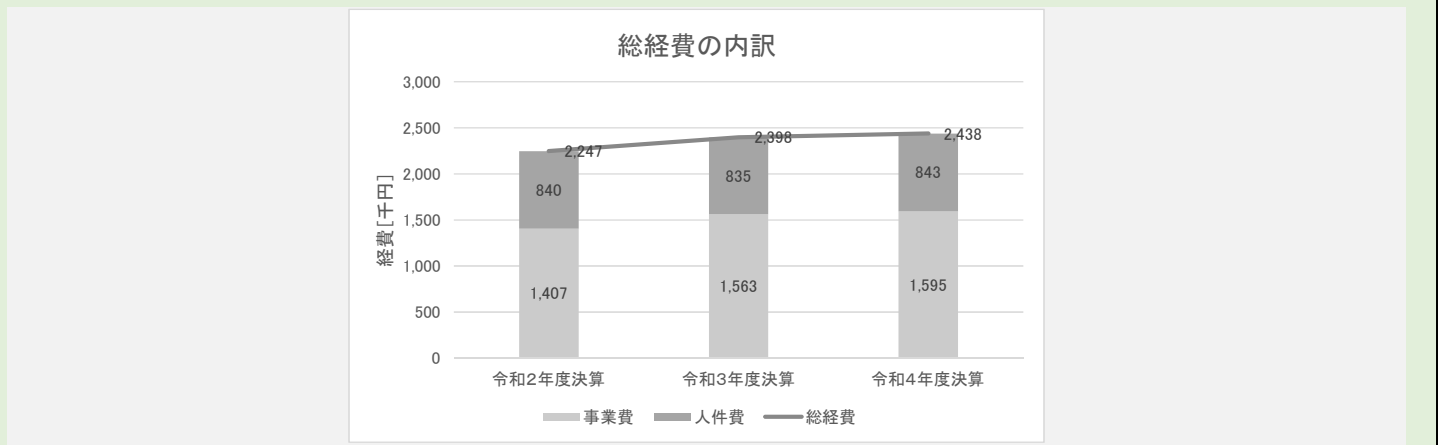
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令								
事業目的	スポーツ振興課の業務全般に係る総務的な事務を円滑に遂行する						分野別計画	
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,407	1,563	1,595	1,625	千円
b 人件費	840	835	843	831	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,247	2,398	2,438	2,456	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、行事等関連事務臨時職員の一か月あたりの勤務日数が減少し報酬(賃金)支出が減少している。
----------------------------	-------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	より良いサービス内容の検討や経費節減を継続して取り組んで行く。
-----------	---------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	2
事務事業名	学校体育施設開放奨励事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

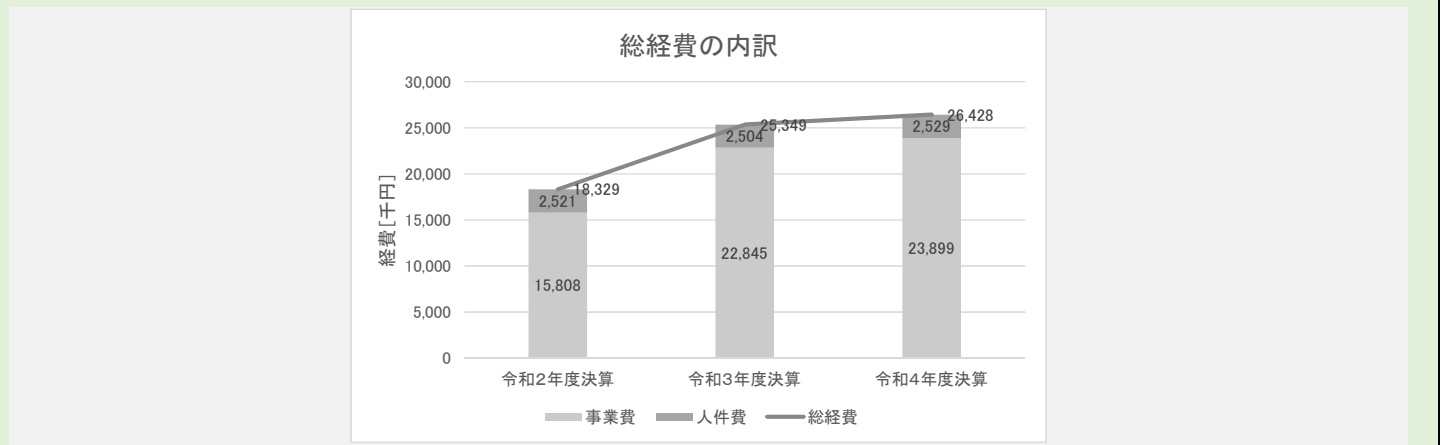
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務							
根拠法令	スポーツ基本法第13条							
事業目的	スポーツ基本法の主旨により、青少年及び一般地域住民のスポーツ愛好団体等にスポーツやレクリエーションの場として、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、健全な余暇利用を促進する。さらに、地域児童の安全な遊び場及び自由なコミュニケーションの場として、学校体育施設を開放する。						分野別計画	スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各開放校に地域住民等で構成された運営委員会を設置し、協議しながら円滑に学校体育施設の開放を行っている。 (1)開放校(全市立小中学校にて開放) 小学校46校 中学校23校(25箇所・旧桜台中学校、旧上の台中学校含む) 合計69校(71箇所) (2)開放施設 体育会館(武道館含む)及び校庭							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	15,808	22,845	23,899	28,676	千円
b 人件費	2,521	2,504	2,529	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	18,329	25,349	26,428	31,170	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
利用人数(延べ) 796,140人	利用人数(延べ) 946,597人	利用人数(延べ) 1,141,081人

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）
令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間の間、事業を中止していたため、令和4年度は支出が増となっている。

今後の事業の方向性
円滑な事業運営を図りながら、今後も維持継続。

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(1)
事務事業名	市民スポーツ教室								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

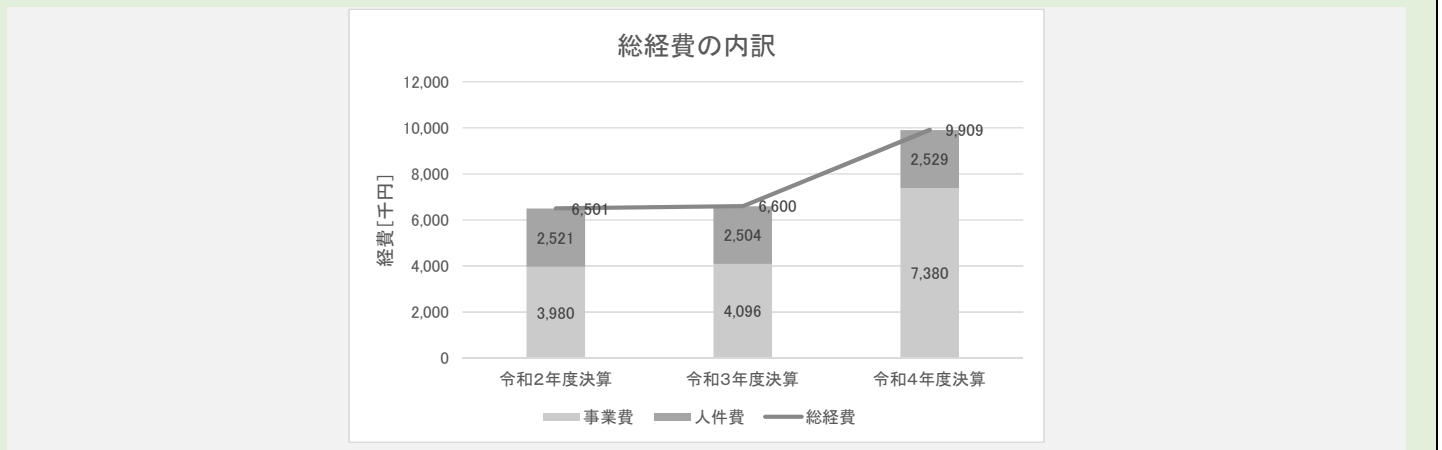
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	スポーツを通して健康づくりを行なうこと、スポーツを習慣化すること、スポーツの基礎技術の習得を図ることを目的に、幼児から高齢者までを対象に、各種スポーツに関する教室を開催し、市民に広く健康的に体を動かす機会を提供する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各種目団体にスポーツ教室の運営を委託し、下記の20教室を企画。 ・健康体力づくり教室 ・幼児の体力づくり教室 ・楽しくエアロビック教室 ・はつらつ体操教室 ・スポーツ吹矢教室 ・バウンドテニス教室 ・夏休みジュニア水泳教室 ・冬・春休みファミリー・ジュニアスキー教室 ・ジュニア相撲教室 ・夏休み小学生ソフトテニス体験教室 ・太極拳教室 ・ジュニア新体操教室 ・なぎなた教室 ・ジュニアバドミントン教室 ・ジュニアラグビー教室 ・ジュニア陸上教室 ・ジュニアレスリング教室 ・ウインドサーフィン教室 ・F・マリノスふれあいフットサルタイム ・F・マリノス夏休み小学生ふれあいフットサルタイム						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,980	4,096	7,380	7,571	千円
b 人件費	2,521	2,504	2,529	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,501	6,600	9,909	10,065	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
参加者数 1,628人	参加者数 1,685人	参加者数 2,710人

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）
令和2年度および令和3年度においては、コロナ禍により教室の中止や縮小があったが、令和4年度は例年に近い回数を開催したため。

今後の事業の方向性
拡充と共に、参加率が乏しい教室の縮小も今後検討。より多くの市民に参加の機会を設けるという視点を持ち、状況を注視していく。

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	3(2)
事務事業名	市民体育大会								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

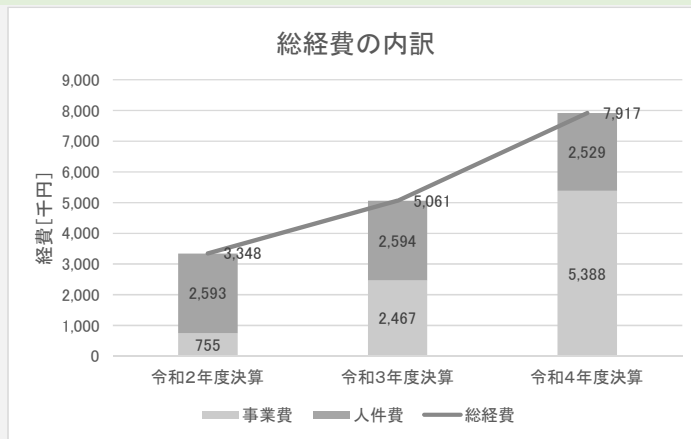
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の体力づくり、本市体育・スポーツの振興と競技力向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	横須賀市スポーツ協会に委託し、同協会加盟の各種目団体により年間を通じて38種目(合気道、アーチェリー、カヌー、空手道、弓道、クレー射撃、ゲートボール、剣道、ゴルフ、サッカー、山岳、銃剣道、柔道、少林寺拳法、水泳、スキー、相撲、ソフトテニス、ソフトボール、太極拳、体操、卓球、ダンススポーツ、テニス、なぎなた、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ハンドボール、パークゴルフ、ボウリング、ボクシング、野球、ヨット、ライフル射撃、ラグビー、陸上競技、レスリング)の市民体育大会を開催する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	755	2,467	5,388	5,847	千円
b 人件費	2,593	2,594	2,529	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	72	90	0	90	千円
総経費（a + b）	3,348	5,061	7,917	8,431	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
横須賀市体育協会に委託し、市民体育大会を6種目実施した。	横須賀市体育協会に委託し、市民体育大会を18種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に委託し、市民体育大会を34種目実施した。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの種目が市民体育大会を中止にせざるを得ない状況となったが、令和4年度については多くの種目で大会を開くことができたため、横須賀市スポーツ協会各団体への業務委託料が過年度と比較して増となった。
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	例年約3万人もの選手が参加する横須賀市最大の競技大会となっている。本市全体のスポーツ振興に効果をあげており、スポーツ協会と連携した事業として維持継続すべきと考える。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	3(3)
事務事業名	各種競技大会事業(第69回横須賀市少年野球大会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

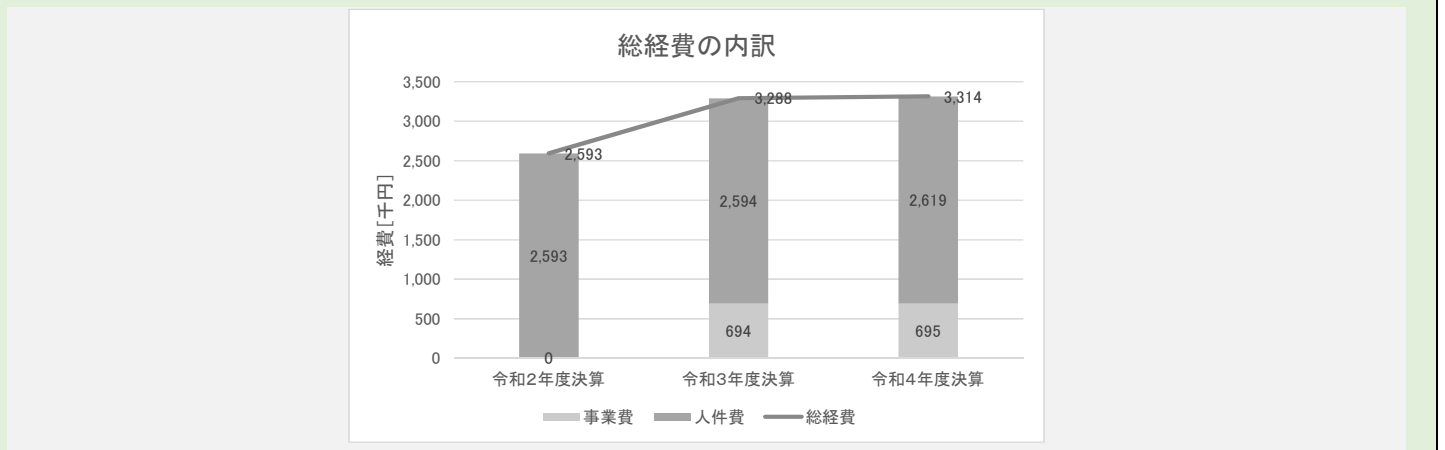
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	青少年の心身の健全育成、地域のスポーツ振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	毎年7月下旬もしくは8月上旬、市内各地域にある少年野球チーム(軟式野球)が一堂に集い、夏季休業中における青少年の心身の健全育成及び地域へのスポーツ振興を図る。小学生、中学生別のトーナメント方式により3日間に渡り対戦する。本大会は、昭和26年に横須賀警察署ほか市内各警察署と横須賀工業クラブが共同で、戦後の荒廃した社会において野球を通じて青少年の健全育成を図ることを目的として開催した少年野球大会が前身となり、その大会を引き継ぐ形で、昭和29年に横須賀青年会議所と横須賀市教育委員会の共催で第1回大会が開催されてから、令和4年度には69回を数える歴史ある大会である。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	694	695	921	千円
b 人件費	2,593	2,594	2,619	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	72	90	90	90	千円
総経費(a + b)	2,593	3,288	3,314	3,505	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	参加チーム数 学童部15チーム、中等部8チーム	参加チーム数 学童部17チーム、中等部8チーム

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度は、コロナ禍により開催中止となったが、令和3年度および令和4年度は感染対策を徹底して開催した。
----------------------------	------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	維持継続すべきであるが、チーム数の減少等が続けば状況に応じて事業内容の見直しも検討する必要がある。
-----------	---------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	3(3)
事務事業名	各種競技大会事業(第77回横須賀市民駅伝競走大会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

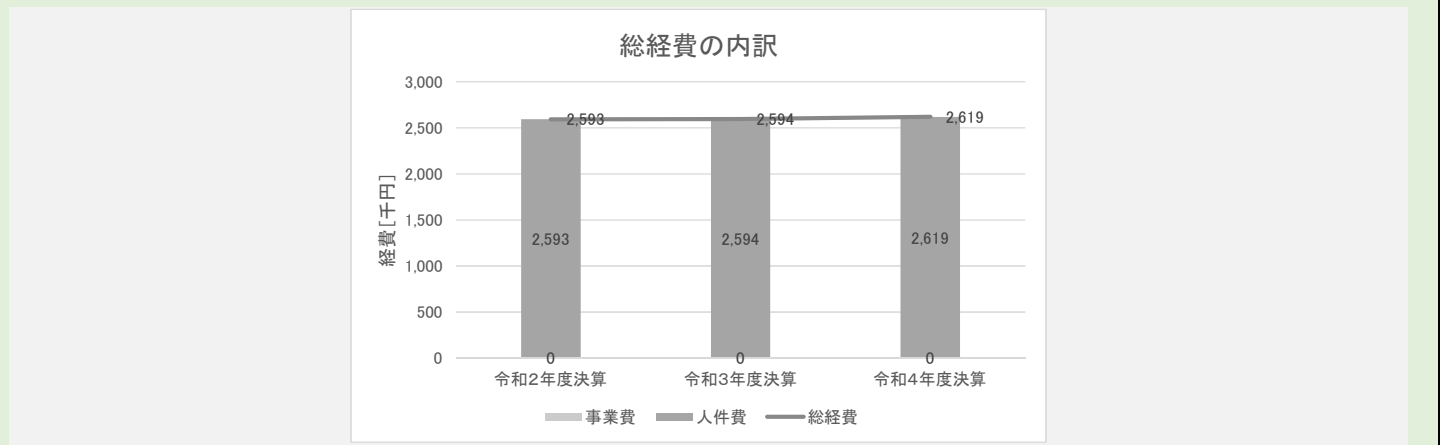
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の健康・体力増進、競技力向上、地域のスポーツ振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	毎年12月中旬、市内在住・在学・在勤の中学生以上で構成された約100チーム600名余りがエントリーし、長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コース全5区間(13.5km)をたすきリレーでつなぎ、健脚を競う駅伝競走大会で、令和4年度には77回を数える歴史ある大会である。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	0	0	千円
b 人件費	2,593	2,594	2,619	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	72	90	90	90	千円
総経費（a + b）	2,593	2,594	2,619	2,584	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	会場となる長井海の手公園ソレイユの丘がリニューアルオープンに伴う工事期間中のため開催中止

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	コロナ禍や、会場が使用できなかったことにより開催中止となったため。
----------------------------	-----------------------------------

今後の事業の方向性	くりはま花の国周回コースで行っていた大会を、平成27年度の第70回大会を機に、交通状況等の課題を解決するためにも、装いを新たに長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コースに会場を変更したこともあり、リニューアルオープン後も当面は維持継続できるようにしていく。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	3(4)
事務事業名	国県体育大会等選手派遣事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

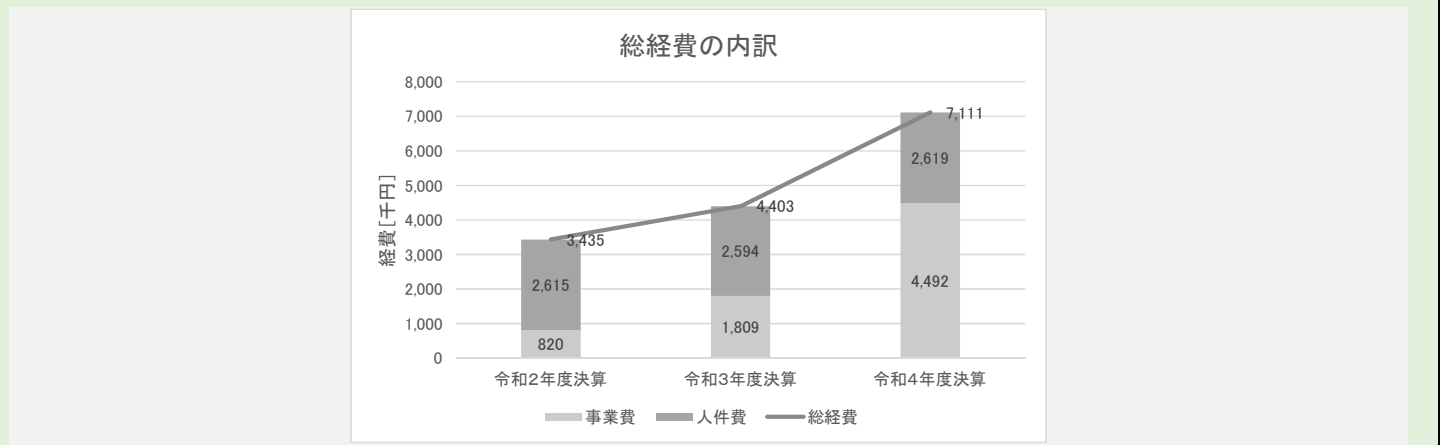
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第6条、第20条						
事業目的	全国大会等の出場選手・チーム・役員のスポーツ大会への参加を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	(1)本市在住・在勤・在学者の国体及び全国大会・国際スポーツ大会出場者に対する支援。 (2)上記(1)の申請者のうち、国の強化選手指定等を受けた者に対する支援。 (3)本市国体等出場者の壮行会開催に係る経費。 (4)市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し参加することによって、競技力の向上や他都市とのスポーツの交流を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	820	1,809	4,492	4,631	千円
b 人件費	2,615	2,594	2,619	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	90	90	90	千円
総経費（a + b）	3,435	4,403	7,111	7,215	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人33人、団体5チーム)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人119人、団体8チーム)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人236人、団体16チーム) 上記のうち、国の強化選手指定を受けた選手に奨励金を交付した。(個人1人) 国体壮行会は新型コロナウイルス感染症の拡大や感染を懸念して中止とした。 第77回市町村対抗かながわ駅伝競走大会は、降雪の影響により中止となった。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により多くの大会が中止となり、奨励金の交付件数が減少したが、令和4年度では徐々に大会が開催され、交付件数もコロナ前の年度と比較しても増加する結果となった。
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	スポーツ大会出場者奨励金は、申請件数も増加傾向にあり、且つ、市内の競技力向上の一役を担う事業であるため、今後も維持継続していく。また、国体出場者への壮行会の開催については、共催である横須賀市スポーツ協会と協議し検討を進める。市町村対抗かながわ駅伝競走大会についても、主催する神奈川県を中心に、県内各自治体が申し込み等の事務を担う役割があるため、市陸上競技協会と連携を図り、大会に参画していく。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(第85回・第86回市民レクリエーション大会)							所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課			

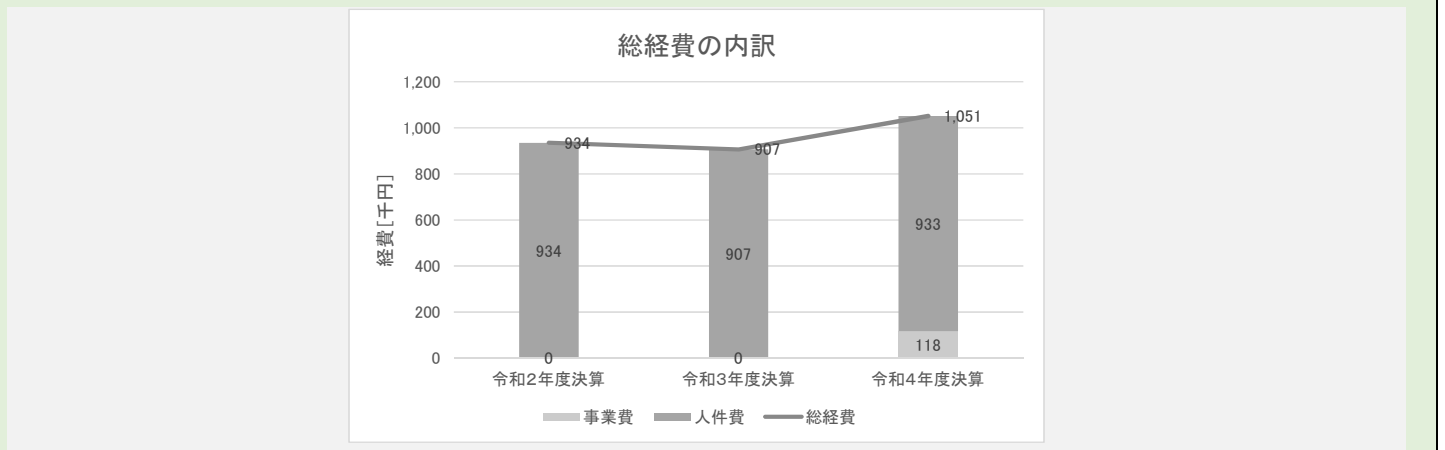
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第24条						
事業目的	本市のレクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	横須賀市レクリエーション協会への委託により、市民レクリエーション大会を年2回春と秋に開催。春は総合体育会館と鶴久保小学校校庭を会場に開催。秋はスポーツの日に、南体育会館と明浜小学校校庭、体育館を会場に、別事業である「よこすかスポーツフェスタ」と併せて開催する。インディアカ、ペタンクなど、普段あまり接する機会はないが誰でも手軽にできるスポーツを体験することができる。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	118	142	千円
b 人件費	934	907	933	921	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	90	90	千円
総経費（a + b）	934	907	1,051	1,063	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
春・秋ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	春・秋ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	参加者数（春）約500人、（秋）約200人

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったが、令和4年度は予定とおり年2回の開催ができたことによる経費の増。
----------------------------	-------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康増進という目的のほかに、ニュースポーツの普及や異種目交流という側面もあり、事業としては維持継続すべきと考える。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(球技大会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

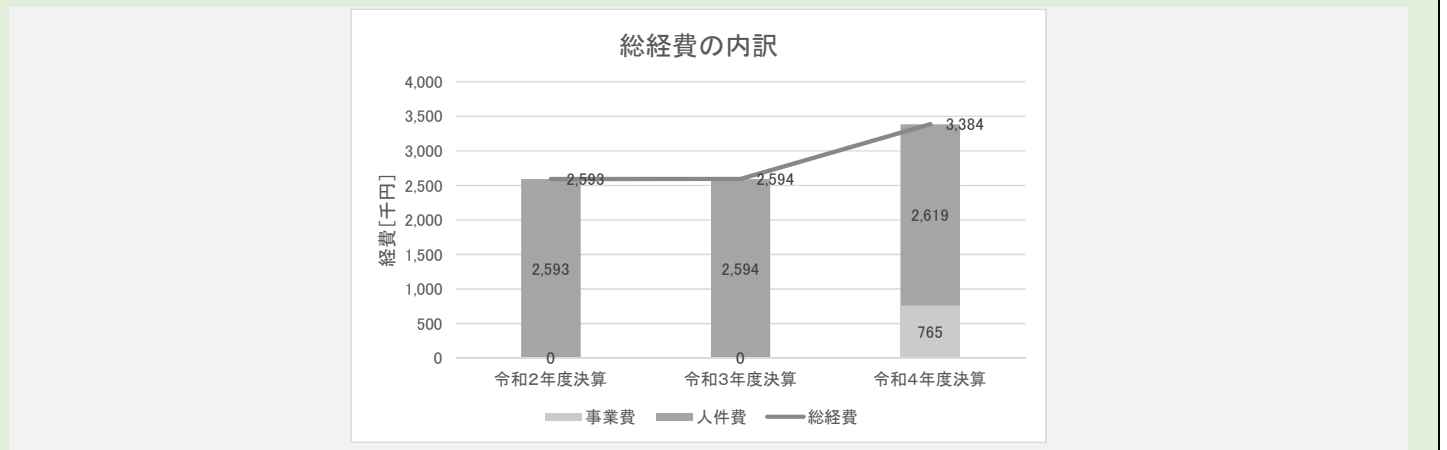
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	生涯スポーツの振興の一つとして、各学区住民の健康増進、体育スポーツの普及をはかり、あわせて学区相互の親睦を深めることを目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	毎年7月下旬と9月上旬、市内の児童ミニバス・児童ソフトボール・成人バレーボール・成人ソフトボールのチームが集い、トーナメント形式で対戦する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	765	855	千円
b 人件費	2,593	2,594	2,619	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	72	90	90	90	千円
総経費（a + b）	2,593	2,594	3,384	3,439	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	参加チーム数 第35回児童ソフトボール大会 10チーム 第63回児童ミニバスケットボール大会 25チーム 第62回成人ソフトボール大会 22チーム 第62回成人バレーボール大会 25チーム

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりに開催となったことによる事業費の増
----------------------------	------------------------------------------

今後の事業の方向性	参加チームも多く維持継続すべきであるが、参加数の減少が続けば状況に応じて事業内容の見直しを検討する必要がある。
-----------	---------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(よこすかスポーツフェスタ2022)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

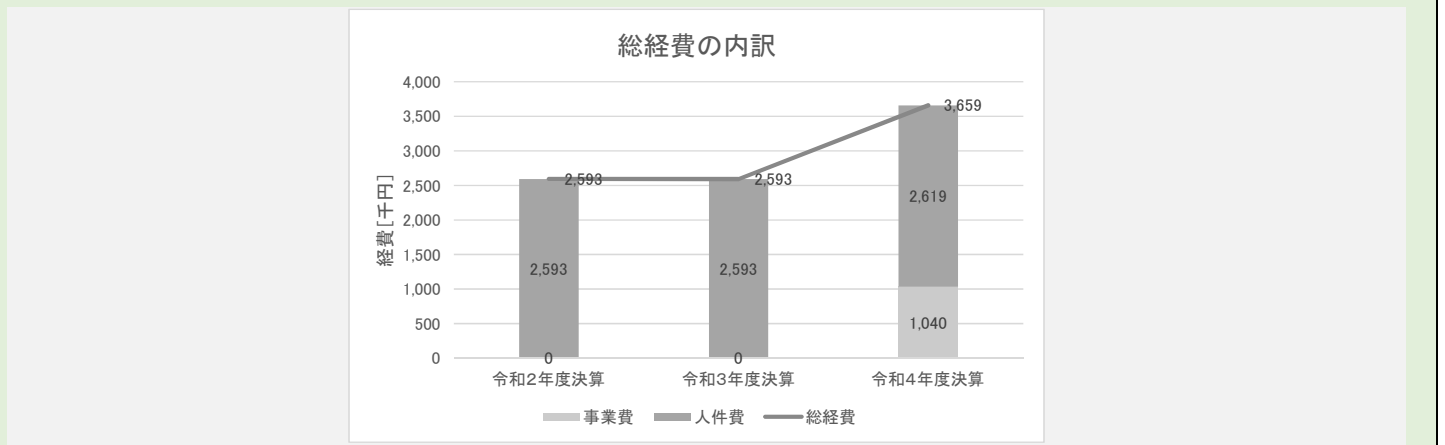
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条・第23条・第24条						
事業目的	本市の体育・スポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	<p>市が主催し、各種体育団体の主管で開催。 毎年スポーツの日に市内の体育会館等(不入斗公園・各体育会館・佐島の丘温水プール・横須賀リーフスタジアム・横須賀スタジアム・明浜小学校・くりはま花の国・浦賀ポートパーク・馬堀海岸公園水泳プール)で一斉開催され、各会場で様々なスポーツを体験することができるイベントで、毎年5,000人以上が参加している。 主な種目:陸上競技、バドミントン、アーチェリー、アクアビクス、シットオン・シーカヤックほか多数</p>						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	0	1,040	1,361	千円
b 人件費	2,593	2,593	2,619	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	72	89	90	90	千円
総経費(a + b)	2,593	2,593	3,659	3,945	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	スポーツフェスタを4年ぶり実施した。参加者数5,618人

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	過去2年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったが、令和4年度は予定とおり開催ができたことによる経費の増。
----------------------------	--------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	毎回5,000人以上の来場者があり、好評が得られている事業であるため、維持継続すべきと考える。
-----------	-------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(よこすかスポーツフェスタ2022 (F・マリノス選手等の派遣))								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

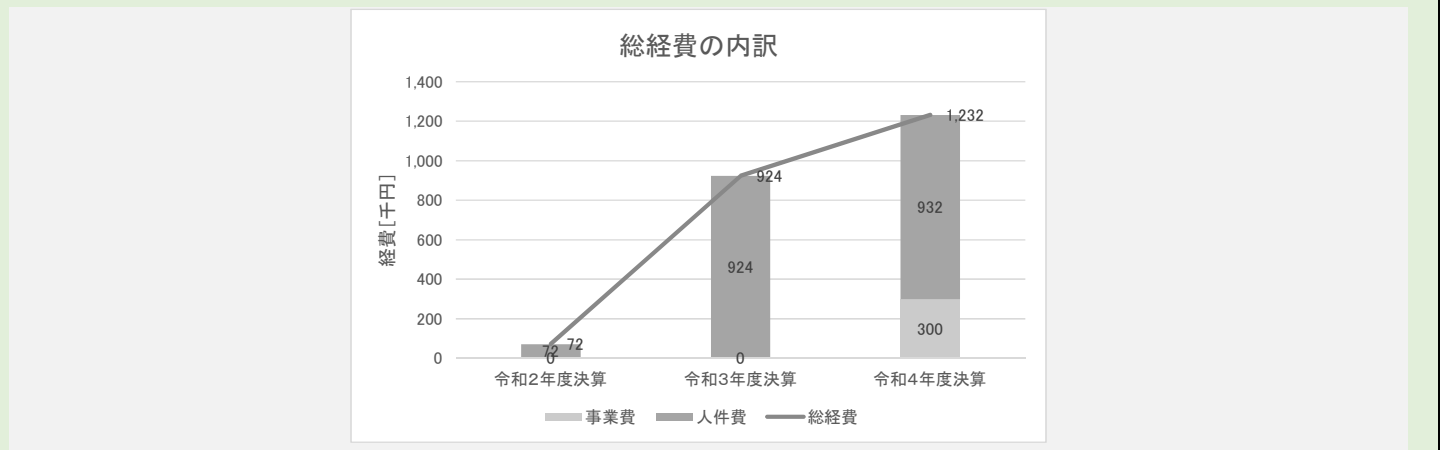
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条・第23条・第24条						
事業目的	子どもたちのスポーツに対する関心を高めることを目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	本市をホームタウンとする横浜F・マリノスのプロ現役選手から、よこすかスポーツフェスタ内のサッカー教室で直接指導を受け、子どもたちに体を動かすことやスポーツの楽しさを伝える。また、トップレベルの選手を間近で感じることで、夢や感動を与える。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	300	300	千円
b 人件費	72	924	932	831	千円
正規職員	0.0	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	72	89	89	0	千円
総経費（a + b）	72	924	1,232	1,131	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	スポーツフェスタを4年ぶり実施した。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	4年ぶりに実施したことによる事業費の増。現役選手の派遣についてはスケジュールの都合が合わず、スクールコーチの派遣を依頼した。
----------------------------	----------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	プロのスポーツ選手と触れ合う機会を創出するためにも、事業を維持継続していく。
-----------	----------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(早起きラジオ体操の会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

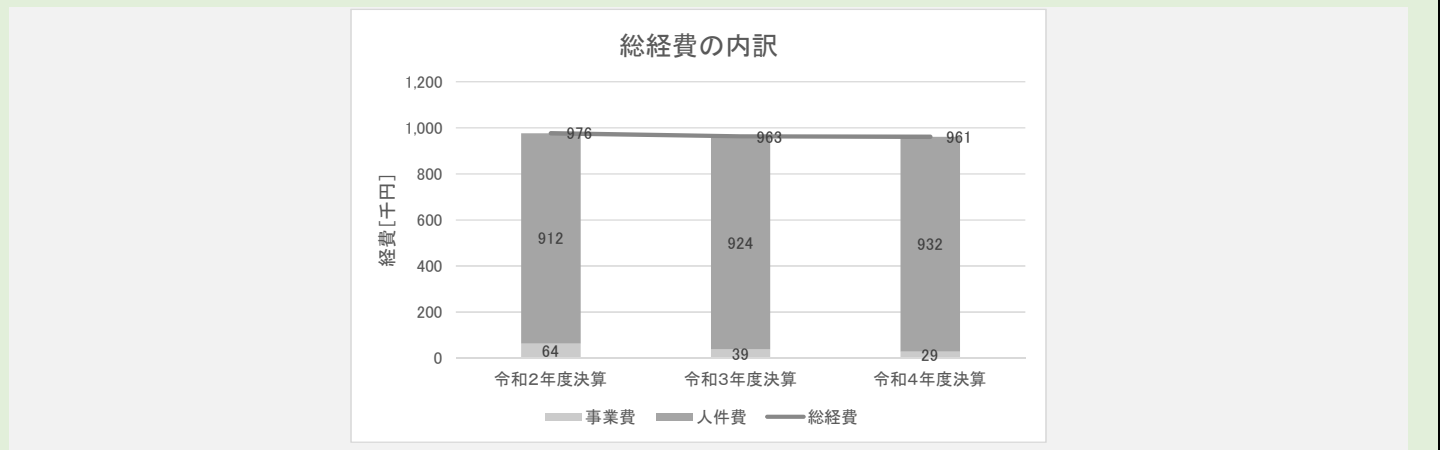
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	本市の体育活動の普及振興を図り健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	夏休みを利用したラジオ体操の会を実施する各学区体育振興会等に、本市が作成するラジオ体操精勤賞状を配布し、併せて株式会社かんぼ生命保険が作成するラジオ体操出席カードを配布する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	64	39	29	60	千円
b 人件費	912	924	932	920	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	72	89	89	89	千円
総経費（a + b）	976	963	961	980	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
配布数 ・ラジオ体操カード 10,975枚 ・精勤賞 10,245枚	配布数 ・ラジオ体操カード 9,243枚 ・精勤賞 9,163枚	配布数 ・ラジオ体操カード 10,095枚 ・精勤賞 9,717枚

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	(令和2年度→令和3年度) 在庫があり、精勤賞の発注枚数が減少したため、事業費が安くなった。 (令和3年度→令和4年度) 新型コロナウイルス感染症の流行が減少傾向になったこともあり、ラジオ体操カードおよび精勤賞の配布数は増加したが、印刷会社を変更したため、事業費が減少した。
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	年々減少傾向ではあるが、要望は依然としてあるため継続していく。
-----------	---------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(市民登山の会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

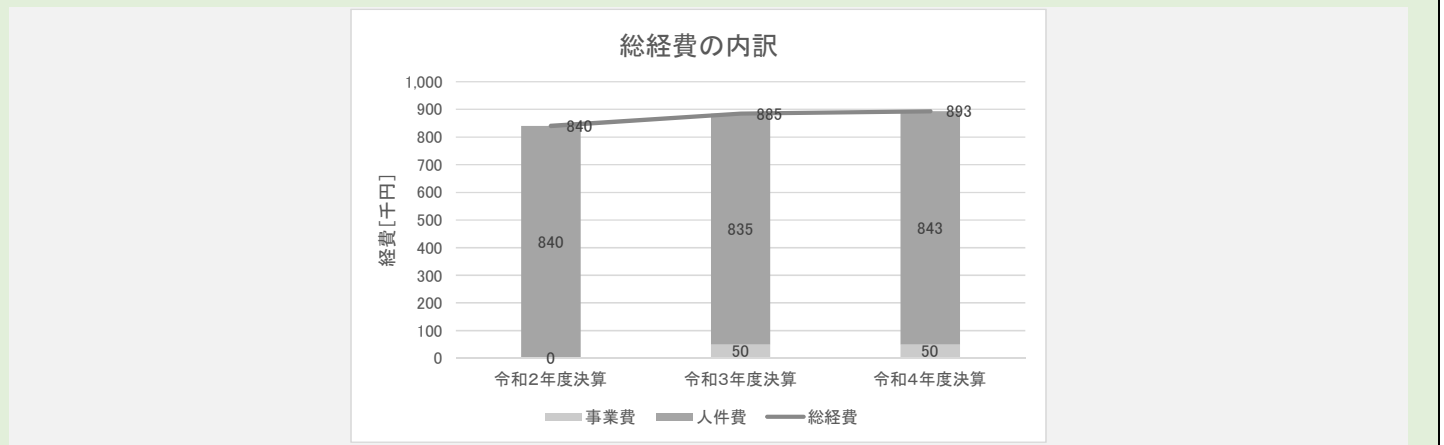
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第24条・第34条						
事業目的	登山を通じて市民の体力向上及び登山の振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	登山への市民参加が得られるよう、また、安全登山普及のため、市民登山の会を実施する横須賀山岳協会に補助金を交付している						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	50	50	50	千円
b 人件費	840	835	843	831	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	840	885	893	881	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業未実施	市民登山の会へ補助金を交付した。(50,000円)	市民登山の会へ補助金を交付した。(50,000円)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	R2は未実施であったが、R3、R4は予定どおり事業を実施したため増減なし。
----------------------------	---------------------------------------

今後の事業の方向性	市民への安全登山の意識普及を果たしており、事業としては維持継続すべきと考える。
-----------	-----------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(スポーツ能力測定会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

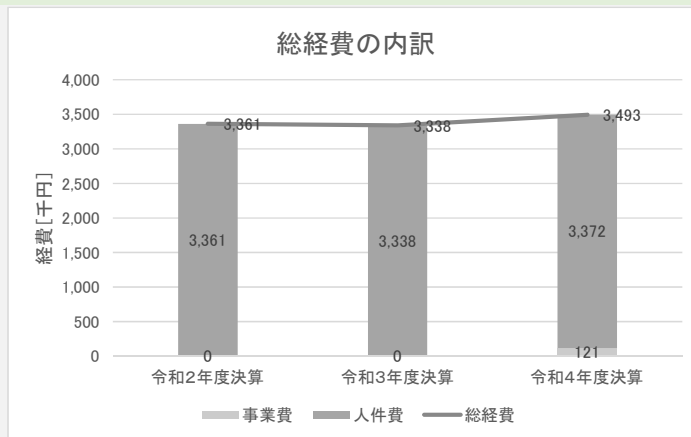
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	スポーツ能力測定会を、運動が苦手だった子どもが自信を持つきっかけに繋がったり、自分に向けているスポーツを知る手段とする					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	「スポーツ能力測定会」とは、世界最新の測定機器を用いて子どもたちの運動能力を測定し、データ分析の結果から発見される、最も適したスポーツ種目との紐づけを行い個々にフィードバックしながら、さらにその能力がステップアップする方法などのアドバイスを行う取り組みである。一般社団法人シティサポートよこすかが主催し、一般社団法人スポーツ能力発見協会への委託により「スポーツ能力測定会」を実施する。市は本事業に共催し、主にイベントの周知及び当日の受付を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	121	209	千円
b 人件費	3,361	3,338	3,372	3,326	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,361	3,338	3,493	3,535	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	過去2年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、4年度に初めて開催した。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	参加者への募集チラシを作成したため、印刷製本費が発生した。
----------------------------	-------------------------------

今後の事業の方向性	スポーツの裾野拡大や競技力向上につながる事業であり、今後も主催する一般社団法人シティサポートよこすかと連携して事業を継続していく。
-----------	-------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(スポーツリズムトレーニング普及事業)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

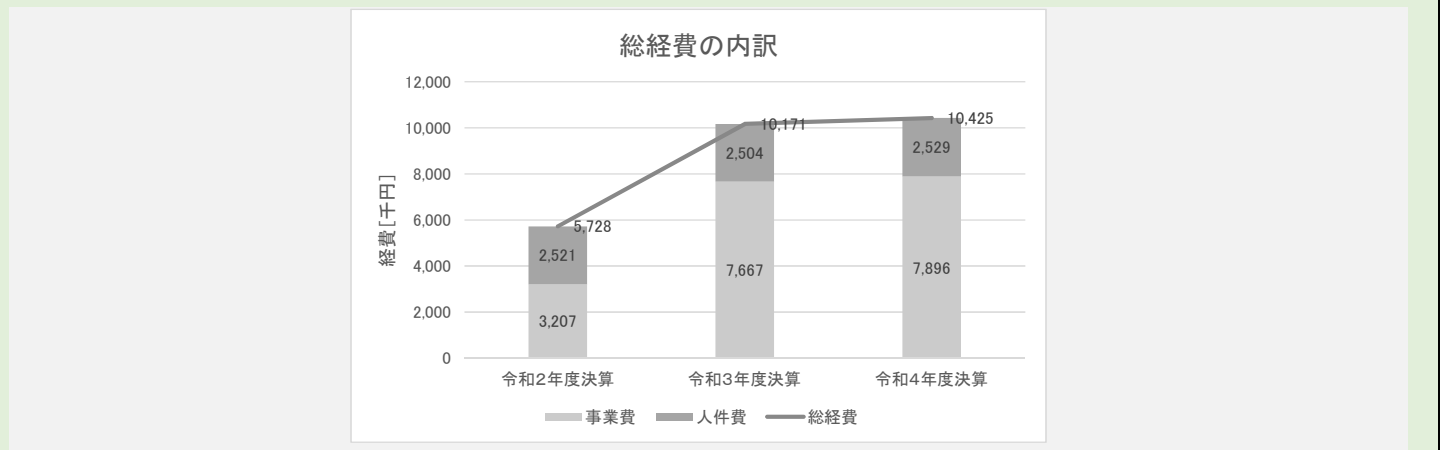
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	スポーツリズムトレーニングを通して市内小中学生がトレーニングを楽しく続けられるようにし、運動能力の向上や怪我をしにくい体づくりを目指す					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	リズムトレーニングを希望する小・中学校へ、リズムトレーニング協会認定講師を派遣し、体育の授業でリズムトレーニングを行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,207	7,667	7,896	8,006	千円
b 人件費	2,521	2,504	2,529	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	5,728	10,171	10,425	10,500	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
リズムトレーニング派遣事業 実施校 3校	リズムトレーニング派遣事業 実施校 9校	リズムトレーニング派遣事業 実施校 10校 指導者向け講習会 1回

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和元年度より試験的に実施し、令和3年度から予算を10校分に増やした。また、R4はリズムトレーニングの普及を目的に、指導者向けの講習会を新規計上したことにより経費も増加した。
----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	小学生のうちにリズムに親しむ機会を提供することでケガ予防や運動能力の向上への寄与が期待できるものであり、スポーツ振興という点で効果的な事業内容であると考え。今後においては費用対効果と、各小学校現場での普及状況、この二つの観点を鑑みて、事業実施の方向性を検討していく必要がある。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	67	項目番号	4(1)-(4)
事務事業名	社会体育団体等補助金(団体運営補助金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第34条						
事業目的	体育・スポーツ団体の育成、競技力向上、地域生涯スポーツ振興を補助し、市内の体育・スポーツの普及振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	社会体育団体等が実施する事業を助成するため以下の補助金を交付する。 (1)横須賀市スポーツ協会補助金 (2)横須賀市レクリエーション協会補助金 (3)横須賀市スポーツ少年団補助金 (4)学区体育振興会補助金						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	14,610	14,760	14,265	15,105	千円
b 人件費	1,680	1,669	1,686	1,663	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	16,290	16,429	15,951	16,768	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
横須賀市体育協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(6,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(28団)へ補助金を交付した。(420,000円) 学区体育振興会(42学区)へ補助金を交付した。(6,930,000円)	横須賀市体育協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(6,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(27団)へ補助金を交付した。(405,000円) 学区体育振興会(43学区)へ補助金を交付した。(7,095,000円)	横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(6,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(27団)へ補助金を交付した。(405,000円) 学区体育振興会(40学区)へ補助金を交付した。(6,600,000円)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度において、横須賀市スポーツ少年団が1団減少(△15,000円)、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加(165,000円)。令和4年度において、学区体育振興会の補助金申請件数が3件減少(△495,000円)。
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	市と連携して本市のスポーツ振興等に取組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。
-----------	---------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	67	項目番号	4(6)
事務事業名	社会体育団体等補助金(地域生涯スポーツ振興事業補助金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

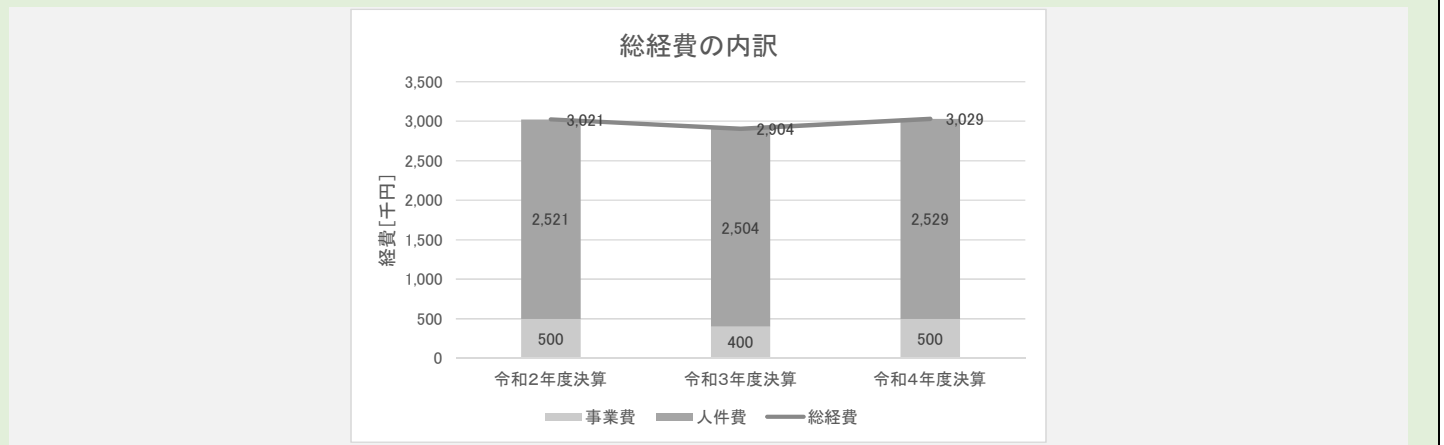
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第34条						
事業目的	市民への地域生涯スポーツの普及振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市スポーツ協会に対して地域生涯スポーツの普及振興のための活動費を助成する。 ・スポーツ協会では、よこすかスポーツフェスタでの各種スポーツの無料体験コーナーの実施、1万メートルプロムナード・ウォークの開催等を実施している。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	500	400	500	500	千円
b 人件費	2,521	2,504	2,529	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	3,021	2,904	3,029	2,994	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
横須賀市体育協会へ補助金を交付した。	横須賀市体育協会へ補助金を交付した。	横須賀市スポーツ協会へ補助金を交付した。

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	令和3年度は横須賀市体育協会に対して地域生涯スポーツの普及振興のための活動費を助成したが、新型コロナウイルスの影響により同協会の一部活動が中止となったことに伴い、不用額の100,000円を市へ戻したが、令和4年度は予定どおり事業を行ったため、前年度比増となっている。
----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	市と連携して本市のスポーツ振興等に取組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。
-----------	---------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	69	項目番号	6(1)
事務事業名	スポーツ基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

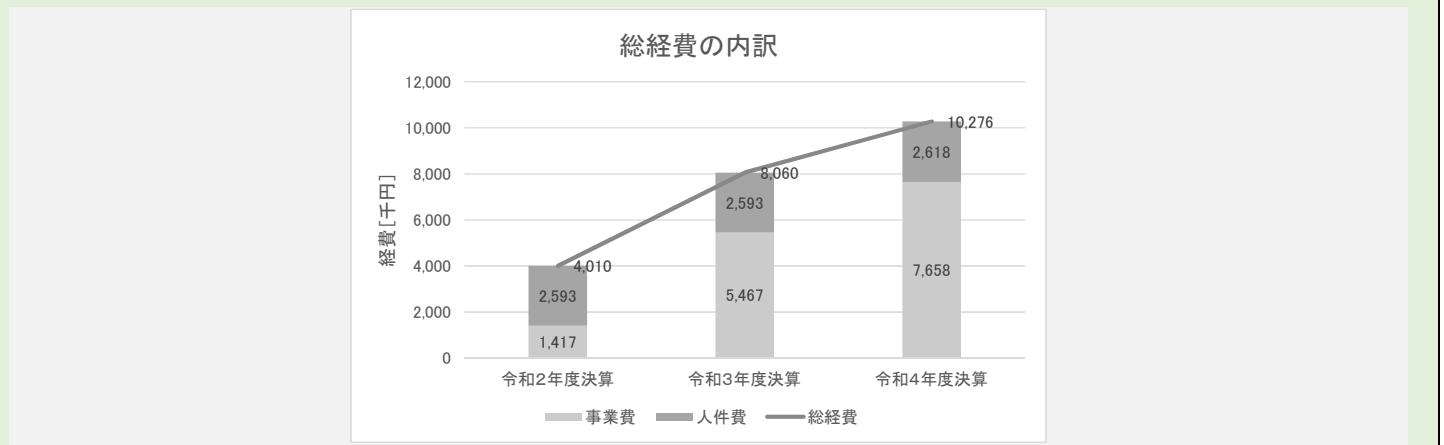
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	基金条例						
事業目的	施設の整備(体育会館運営事務費)やスポーツに参加する人への支援(国県体育大会等選手派遣事業)などにスポーツ基金を充当し、市民スポーツの振興に資する。						分野別計画
具体的な事業内容	当年度中の「ふるさと納税」等による指定寄附と運用利子で得た収入を積み立てる。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,417	5,467	7,658	10,120	千円
b 人件費	2,593	2,593	2,618	2,583	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	72	89	89	89	千円
総経費(a + b)	4,010	8,060	10,276	12,703	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
ふるさと納税による指定寄附 1,416,000円 運用利子 564円	ふるさと納税による指定寄附 5,467,000円 運用利子 31円	ふるさと納税による指定寄附 7,658,000円 運用利子 77円

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	ふるさと納税の寄附額によって、その年々の総経費に増減が生じる。
--------------------------------	---------------------------------

今後の事業の方向性	積極的な財源確保のため、引き続き継続していく。
-----------	-------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	69,70	項目番号	7(1),8(1)
事務事業名	スポーツ選手応援事業(スポーツで夢をかなえる基金積立金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

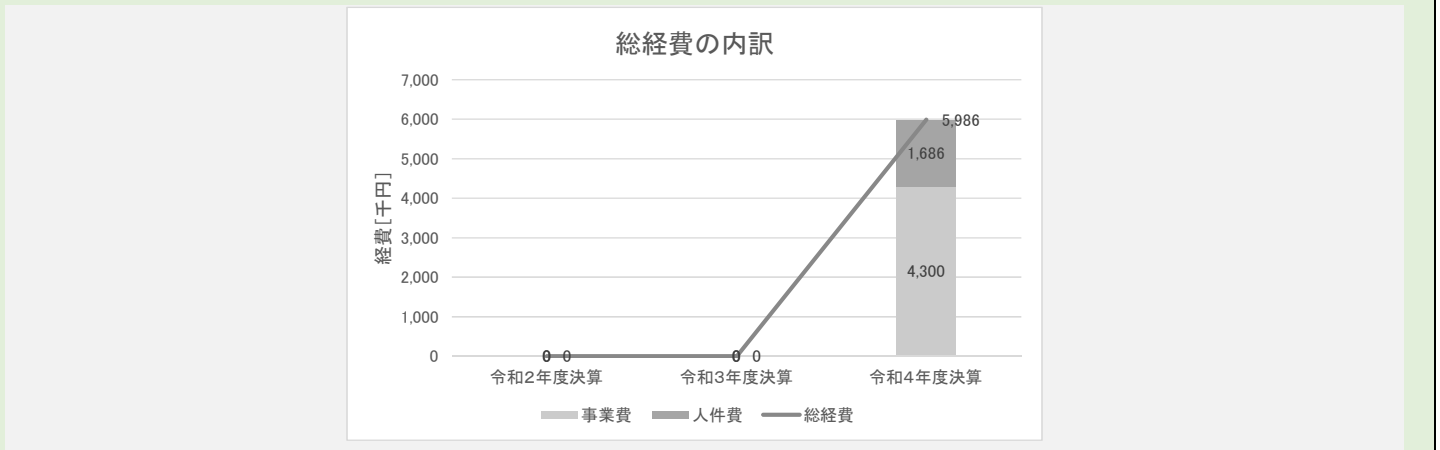
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内トップアスリートの育成等を目的とし、企業や個人からの寄附金も活用しながら、選手の活動を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	対象の選手は、市内在住・在勤・在学中、オリンピック・パラリンピック強化指定選手、各競技団体(オリンピック・パラリンピック・デフリンピック)の強化指定選手、JOCエリートアカデミー選手のいずれかに該当する者。寄附者が選手を指定して寄附した場合は、その選手に全額を交付し、指定がない場合は対象選手に均等分配する。 また、スポーツで夢をかなえる基金は、本事業の財源の一部として積み立て、対象選手がいる場合に繰り入れ、本事業に充当する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	0	4,300	4,400	千円
b 人件費	0	0	1,686	1,663	千円
正規職員	0.0	0.0	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0.0	0.0	0.0	0.0	千円
総経費(a + b)	0	0	5,986	6,063	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
事業開始前	事業開始前	企業版ふるさと納税で市外企業1社、指定寄附で市内企業1社、個人3名から合計3,300千円の寄附があり、対象選手6名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金1,000千円の合計4,300千円を分配し、奨励金を交付した。

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度から開始した事業であるため。
----------------------------	---------------------

今後の事業の方向性	奨励金をより多くの本市ゆかりの選手に届け、競技活動を支援するため維持継続していく。
-----------	-------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	70	項目番号	9(1)
事務事業名	一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

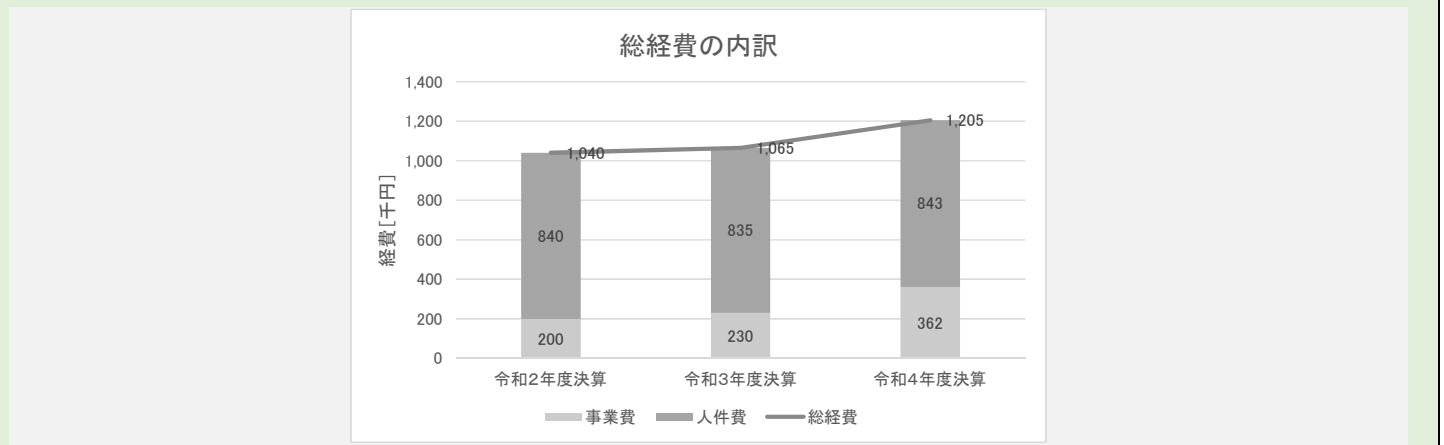
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	スポーツ振興課における事務を円滑に進める					分野別計画	
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	200	230	362	599	千円
b 人件費	840	835	843	831	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,040	1,065	1,205	1,430	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
特になし(内部)管理費のみ	特になし(内部)管理費のみ	特になし(内部)管理費のみ

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、各イベント等が中止になったため経費が減少している。
----------------------------	-----------------------------------------------------

今後の事業の方向性	より良いサービス内容の検討や経費節減を継続して取り組んで行く。
-----------	---------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	70	項目番号	9(2)ほか
事務事業名	スポーツ表彰事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

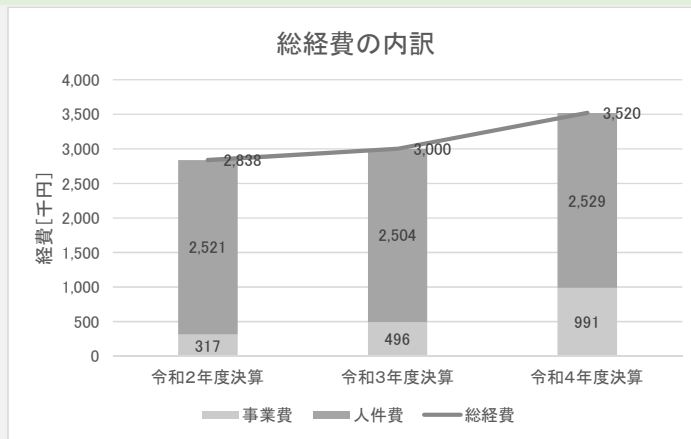
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	スポーツ基本法第20条							
事業目的	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方の表彰並びに本県の代表として全国、世界大会へ出場した選手を表彰することにより体育行政全体の活力を呼びおこし、かつ選手の技術向上を目指す意識を高める。						分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育功労者に対しては、本市体育振興に功績にあった者に対して、また、スポーツ栄光章に対しては、本県の代表選手として全国大会等に出場し、顕著な成績を挙げた者に対して、毎年度末の2月に被表彰者を一堂に会し表彰状及び、功労者には楯と徽章、栄光章にはメダルを授与し、その功績を称えている。また、オリンピック等において顕著な成績を収めた個人または団体に横須賀市スポーツ大賞・特別賞の表彰を行う。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	317	496	991	1,002	千円
b 人件費	2,521	2,504	2,529	2,494	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,838	3,000	3,520	3,496	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<p>長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人7名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人9人、団体1チーム) 国際大会で顕著な成績を収めた選手2名をスポーツ大賞として表彰した。</p>	<p>長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人8名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人15人、団体8チーム) 本市出身で、サッカー日本代表としてワールドカップカタール大会出場を決めた伊東純也選手を激励する懸垂幕及び横断幕を製作した。</p>	<p>長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人7名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人45人、団体9チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞を贈った。(個人2人)</p>

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、スポーツ栄光章の被表彰者が減少したこともあって準備経費が減となった。 一方で、令和4年度はコロナ禍前に近い形での開催となったことや、表彰式でのアトラクションにかかる委託を行ったことなどから前年度比増となった。</p>
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>長年の体育功労者や優秀な成績を収めた選手の功績を称する機会であるため今後も継続する。</p>
-----------	---------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	71	項目番号	1
事務事業名	体育会館管理委託費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等社会振興の場の提供や市民の健康増進のため、体育会館施設の運営維持管理業務を委託する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の第5期(令和4年4月1日～令和9年3月31日)指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ管理運営を委託し、管理にかかる委託金を支出する。 体育会館施設:総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	567,325	575,758	570,975	629,275	千円
b 人件費	3,361	3,338	3,372	3,326	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	570,686	579,096	574,347	632,601	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<p>指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額567,325千円を支出した。</p> <p>体育会館施設使用人員: 247,844人</p>	<p>第5期の指定管理者公募を行った。指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額575,758千円を支出した。</p> <p>体育会館施設使用人員: 509,849人</p>	<p>指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額570,975千円を支出した。</p> <p>体育会館施設使用人員: 615,688人</p>

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	<p>令和4年度中に西体育会館、南体育会館が工事休館したが、コロナ禍の鎮静化により利用者数は増となった。なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による全館休館があり事業費は特異値となっている。令和4年度の事業費は、上記工事休館に伴って生じた指定管理者への営業損失分の補填を行い、西体育会館、くりはま花の国プールが工事休館した令和3年度に比して減額となった。</p>
----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	<p>今後も指定管理施設として指定管理者に委託し運営する。運営にあたっては、利用料金収入の増や経費削減を目標としながら、多くの市民へ運動の場を提供する。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	72,73	項目番号	2
事務事業名	体育会館営繕工事費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

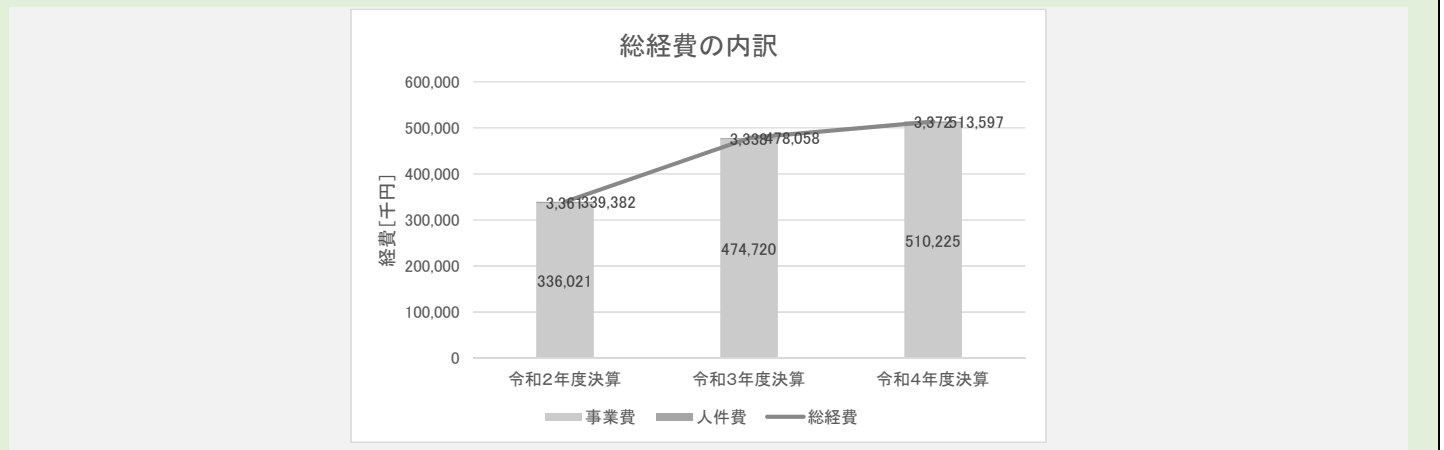
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	スポーツ基本法第12条						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の改修工事を行う。 体育会館施設：総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	336,021	474,720	510,225	556,186	千円
b 人件費	3,361	3,338	3,372	3,326	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	339,382	478,058	513,597	559,512	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・くりはま花の国プール改修その他工事 ・くりはま花の国プールのトイレほか改修機械設備工事 ・くりはま花の国プール改修その他電気設備工事 ・くりはま花の国プール自動制御設備ほか改修工事 ・北体育会館競技場天井改修その他工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・くりはま花の国プール改修その他工事(継続費) ・くりはま花の国プールのトイレほか改修機械設備工事(継続費) ・くりはま花の国プール改修その他電気設備工事(継続費) ・くりはま花の国プール自動制御設備ほか改修工事(繰越明許) ・サブアリーナ空調改修工事 ・西体育会館外灯改修工事 ・メインアリーナ煙突断熱材改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育会館メインアリーナ付属棟屋上防水改修工事 ・くりはま花の国プール非常用発電機改修工事 ・北体育会館プール空調ダクト設備改修工事(継続費) ・西体育会館競技場天井改修その他工事

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	工事の内容や件数によって、その年々の総経費に増減が生じる。
----------------------------	-------------------------------

今後の事業の方向性	施設の安全性や利用者の利便性向上のため必須事業である。今後においても優先度を鑑み予算計上を継続していく。
-----------	------------------------------------------------------

令和5年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	74	項目番号	3(1)
事務事業名	体育会館運営事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	修繕、スポーツ用具等備品の購入、公共施設予約システムの通信機器の使用など、体育会館施設の運営にかかる事務費を計上し執行する。 体育会館施設：総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	30,653	19,406	25,907	33,688	千円
b 人件費	3,361	3,338	3,372	3,326	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	34,014	22,744	29,279	37,014	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績
修繕料 16,591千円 公共予約システム関連経費 781千円 器具運搬業務委託 200千円 体育器具購入費 12,526千円 事務費 555千円	指定管理者選考委員会関係経費 84千円 修繕料 12,370千円 公共予約システム関連経費 782千円 業務委託 1,297千円 体育器具購入費 4,838千円 事務費 35千円	修繕料 17,733千円 公共予約システム関連経費 782千円 体育器具購入費 7,347千円 事務費 45千円

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	修繕、備品の内容や単価、件数によって、その年々の総経費に増減が生じる。 令和4年度は修繕、体育器具購入費の支出が増となったことが前年度と比較して増となった主な理由である。
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	施設の安全性や利用者の利便性のため必須の事業である。今後においても修繕や備品購入は緊急性や優先度を鑑み予算計上を継続していく。
-----------	-----------------------------------------------------------------